

# **TABLE FOR TWO**

**ANNUAL  
REPORT**

**2010**



- 目次 -

|                            |    |
|----------------------------|----|
| TABLE FOR TWOチームから -----   | 2  |
| How we work -----          | 3  |
| - TABLE FOR TWOの仕組み        |    |
| Where we work -----        | 4  |
| - 支援地域                     |    |
| What we do -----           | 6  |
| - TABLE FOR TWOプログラム ----- | 7  |
| - 学校給食プログラム -----          | 23 |
| TABLE FOR TWO -----        | 34 |
| - TABLE FOR TWO団体概要        |    |

- TABLE FOR TWOチームから -



TABLE FOR TWO International代表

**小暮真久**

日頃よりTABLE FOR TWOの活動にご参加、ご協力をいただき誠にありがとうございます。事務局、理事および関係者一同、心より御礼を申し上げます。2010年は創設4年目を迎え、お陰様で大きな飛躍の年となりました。国内では135の団体が新たにTFTの輪に加わり合計で379の団体が参加する日本最大規模の社会貢献活動に発展しました。

また、海外ではいち早く活動がスタートした米国に続き、英国、スイス、イタリア、カナダ、韓国などの国々でも、ボランティアの方々を中心とした活動拠点が設置され、「日本から世界に広がる社会貢献活動」への基礎が築かれました。10月16日の世界食料デーに開催した「100万人のいただきます」イベントでは、日本全国と海外のTFTサポーターの方々、世界的に広がるTFTの繋がりを体感することができました。さらに、活動内容も従来の社員食堂でのプログラムに加え、一般飲食店やコンビニ、ホテル、娯楽施設での実施など多岐に渡り、参加いただく間口が一気に拡大しました。

開発途上国には、日に三度の食事がままならず飢餓、栄養不良に苦しむ子どもたちがまだまだ大勢います。世界中の人たちに、平等に十分な食事と栄養が与えられる社会を実現できるよう、引き続き皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

TABLE FOR TWO USA代表

**Daniel Goldstein**



TABLE FOR TWO USA is pleased with our official launch in 2010, and truly excited about 2011! We kicked things off in May, 2010 with an event at Columbia University hosted by Dr. Jeffrey Sachs, and finished the year by implementing our healthy meal system at AIG/Chartis in New York. Along the way, TFT partnered with hotels, schools, and restaurants and welcomed strong and vibrant chapters in Washington D.C., San Francisco, and active participants across the USA.

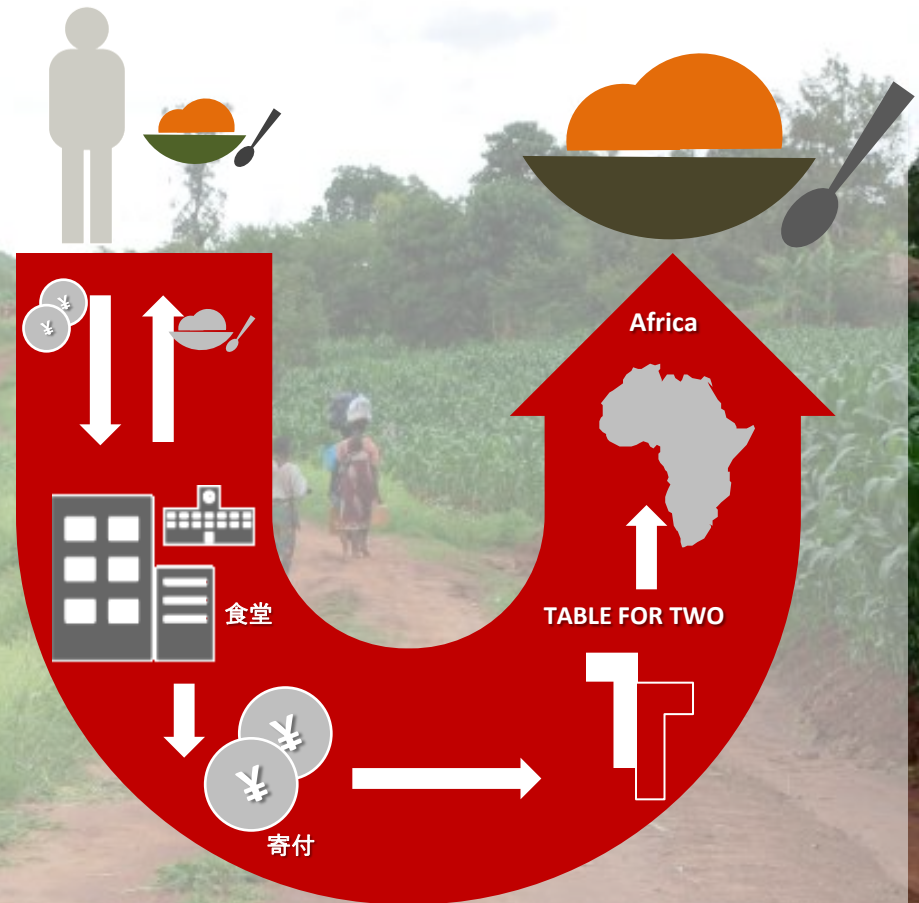
我々、TABLE FOR TWO USAは2010年に正式に活動を開始できたことをとても嬉しく思っています。そして2011年はより素晴らしい年になると期待しています。2010年、最初の活動として5月にコロンビア大学でDr. Jeffrey Sachs主催のもとイベントを開催しました。1年の締め括りには、AIG/Chartisのニューヨークオフィスにヘルシーメニューを導入することが出来ました。その他にもホテルや学校関係、飲食店とパートナー関係を構築し、ワシントンDCやサンフランシスコを拠点とする支部を設け、活動は全米各地に広がっています。

# How we work

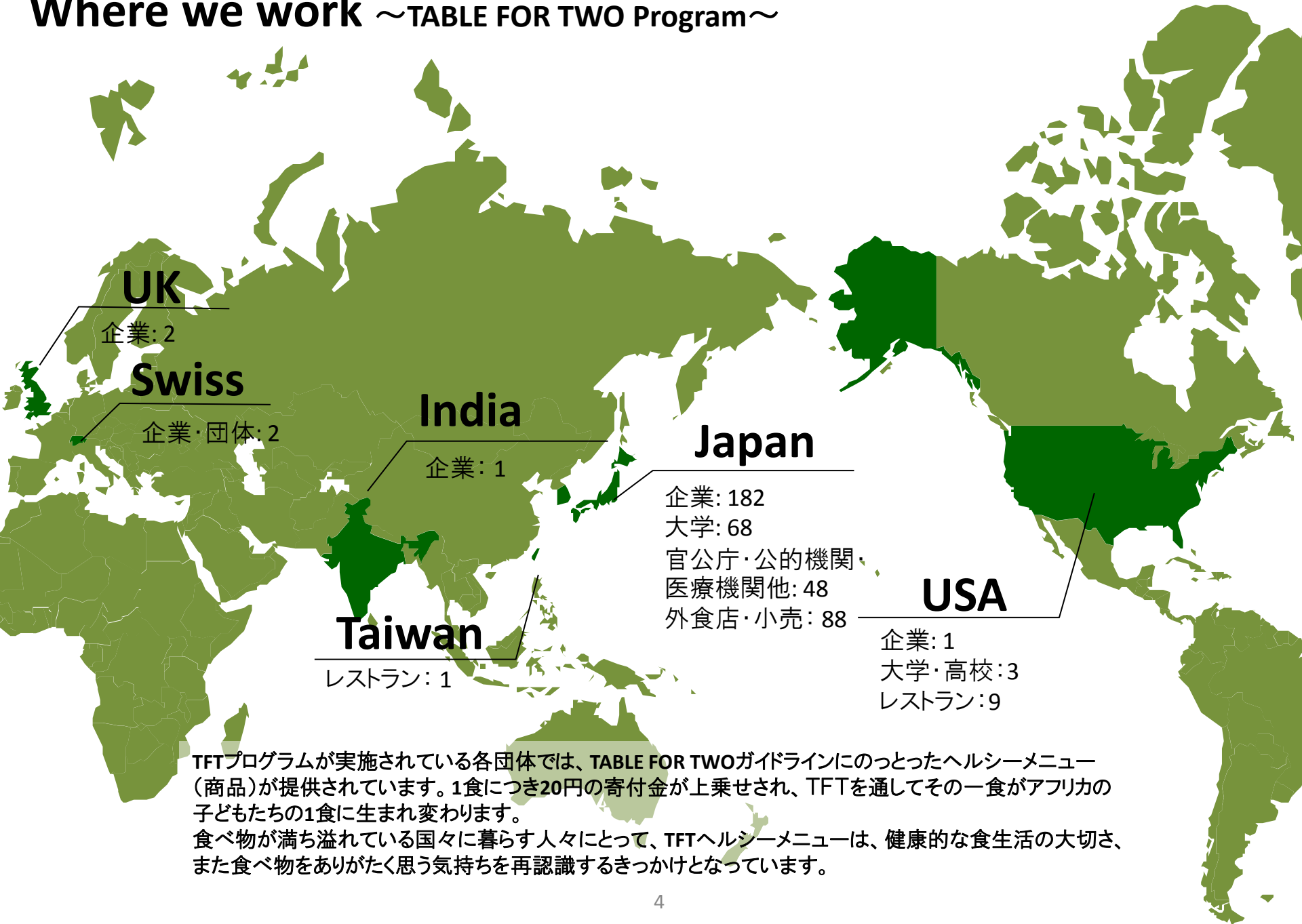
世界人口約70億人のうち、10億人が飢餓・貧困に苛まれている一方で、10億人が飽食社会の中で肥満・生活習慣病に苦しんでいます。これは、世界の食料配分の不均衡によって生じた問題です。開発途上国では食料が不足し、先進国では食事が過多で命が失われる対照的な世界の実態が存在します。TABLE FOR TWO (以下、TFT)は、食の不均衡を解消し、開発途上国と先進国双方の人々の健康を同時に改善することを目指す日本発の社会事業です(2007年設立)。

先進国にいらっしゃる参加者の皆様には、肥満や生活習慣病予防のために食事のカロリーを抑えていただき、抑えたカロリー分を栄養豊富な給食にして開発途上国の子どもたちに届けます。先進国の参加者と、地球の裏側にいる開発途上国の子どもたちが、時間と空間を超え食卓を囲み、食事を分かち合うイメージから「二人の食卓」を意味する「TABLE FOR TWO」という名をつけました。

TFTの仕組みを国内外に広げることで、世界の飢餓・栄養失調と肥満・生活習慣病の解消に貢献します。同時に、人々がTFTのメニューや商品を選択することで、世界の食の不均衡改善と共存を実感し、地球市民としての自覚が生まれる意識改革を目指します。さらには、日本から世界に広がる社会事業を成功させることで、日本の市民社会のさらなる発展の触媒となることを目指します。



# Where we work ~TABLE FOR TWO Program~



TFTプログラムが実施されている各団体では、TABLE FOR TWOガイドラインにのっとりヘルシーメニュー（商品）が提供されています。1食につき20円の寄付金が上乗せされ、TFTを通してその一食がアフリカの子どもたちの1食に生まれ変わります。

食べ物が満ち溢れている国々に暮らす人々にとって、TFTヘルシーメニューは、健康的な食生活の大切さ、また食べ物をありがたく思う気持ちを再認識するきっかけとなっています。

# Where we work ~School Feeding Program~



## Ethiopia

小学校:22校  
生徒数:12,729人

※エチオピアでは2010年9月  
から給食プログラムが始まりました

## Uganda

小学校:21校  
生徒数:10,080人

## Rwanda

小学校:5校  
生徒数:5,977人

幼稚園:3校  
生徒数:192人

## Malawi

小学校:6校  
生徒数:2,444人

## South Africa

小学校:3校  
生徒数:2,660人

※2010年夏から学校菜園支援プログラムが始まりました。  
社員食堂やレストランでのTABLE FOR TWOプログラムからのご寄付とは別のスキームでのプログラムです

食べすぎで悩む人々がヘルシーな食生活に変えることで、サブサハラアフリカの飢餓に苦しむ子どもたちへ給食が届けられます。

これらの地域では、日々の食生活がままならない状況におかれている子どもたちも多く、学校給食は子どもたちの健康改善に大きな役割を果たしています。

そして健康だけでなく、子どもたちの勉強する意欲をも高め、彼らの未来の可能性を広げる一躍を担っています。

\* 生徒数は2010年9月時点の人数

# What we do ~TABLE FOR TWO Program~

食べすぎが原因で肥満、病気に悩む人々。誰の手にも取られずに捨てられていく食べ物。  
飽食が当たり前になっている社会に暮らす人々へ、自分のこと、社会のことを少しだけ思いやったメニューを、多くの人のサポートを得ながら、TABLE FOR TWOは届けています。



# TABLE FOR TWOプログラムとは

TABLE FOR TWO(以下TFT)プログラムとは、社員食堂や学生食堂、レストラン等にてヘルシーなメニューをTFTメニューとして提供していただき、一食につき20円の寄付金を募り、アフリカでの学校給食プログラムの給食費として届けるプログラムです。TFTが定めるガイドラインに沿ったヘルシーメニューをTFTメニューとして販売することで、そのメニューを召し上がった方の健康も維持することができます、同時にアフリカの子どもたちへ温かい給食を届けることができます。



## TABLE FOR TWOヘルシーメニューガイドライン

1. 一食当たりのカロリーが通常よりやや低く抑えられている\*
  - デスクワークが主となる職場の食堂:730kcal程度(680~800kcal)
  - 工場や軽作業を伴う職場の食堂:800kcal程度(720~870kcal)
2. 栄養のバランスが取れている
3. 野菜を多く含む

\*厚生労働省の定める「日本人の食事摂取基準(2005年度)」を参照。  
一日の運動量により幅があります。

社員食堂から始まったTFTプログラムは、現在ではさらなる広がりを見せています。

学生食堂やレストラン、コンビニエンスストア、インターネット通販、そしてカラオケや映画館、披露宴会場など多様な場所、方法でプログラムに参加することができます。さらに、日本から始まったTFTの活動は海を越え、アメリカ、イギリス、台湾などでもプログラムが実施されています。

# TABLE FOR TWOプログラムの広がり

## 社員食堂

TFTの理念にご賛同いただいている企業の社員食堂にて、TFTヘルシーメニューが提供されています。社員の方々の健康増進を実現しつつ、アフリカの子どもたちへ給食を届けています。



## 学生食堂

世界のために、今自分ができることをしたい。そんな大学生の想いが繋がり、大学や高校の学生食堂でもTFTプログラムが実施されています。



## レストラン

誰でも気軽に行くことのできる、街のレストランやカフェでもTFTプログラムが広がり始めています。



## 小売

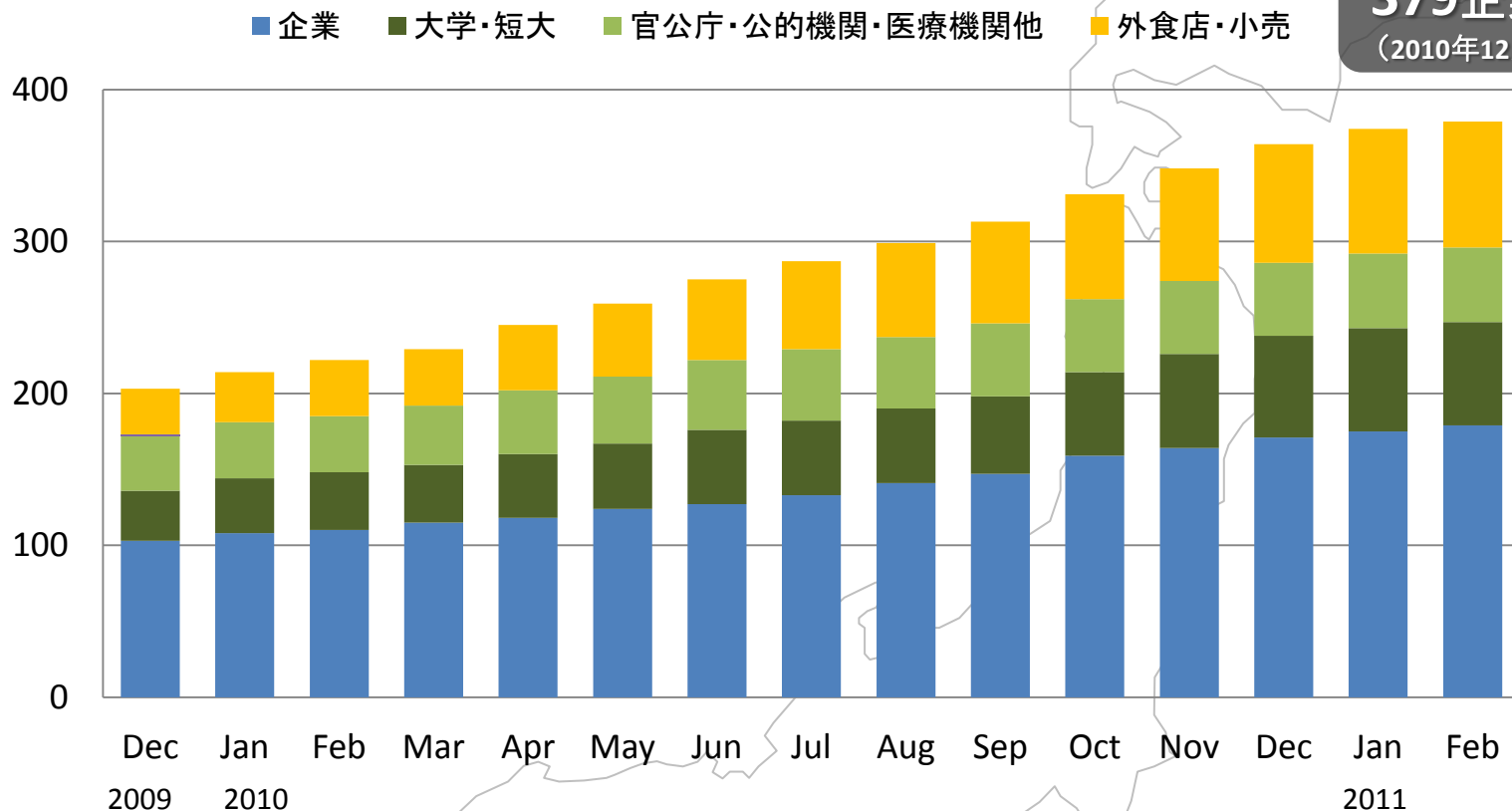
コンビニエンスストア、インターネット通販、自動販売機を通して、TFTプログラムにご参加できます。





# 数字で見る2010年のTABLE FOR TWO

## ■ 日本国内の導入企業・団体の推移



**379企業・団体**  
(2010年12月末日現在)

■ TABLE FOR TWOプログラムの実施場所 **40**都道府県 **719**ヶ所

■ メディア掲載 **132**回以上

# 社食→アフリカ

2007年の設立から早三年。

2010年末時点では、379団体にTFTプログラムにご参加頂いております。実施団体のおよそ半数を占めているのが、民間企業です。2010年も、数多くの企業がTFTプログラムを導入してくださいました。すでにプログラム実施中の社員食堂でも、新たな動きが起り始めています。

2010年からプログラムを実施している日本たばこ産業株式会社では、活発な食堂内での広報活動が行われています。以前は揚げ物のようなカロリーの高いメニューが人気でしたが、ヘルシーなTFTメニューをより多くの人に知ってもらうため、テーブルにオリジナル卓上ポップを設置するようになりました。メニューの紹介だけでなく、支援先の状況に関して様々な視点からストーリー性を持たせ解説し、見る人を引き付けるような広報を実施しています。そのような活動が功を奏し、ヘルシー系メニューが、これまでの倍まで売れるようにまできています。

また、三井物産株式会社(2008年からTFT導入)では、環境・社会貢献部と、有志社員チームの連携で、様々な独自の取り組みを展開しています。TFTメニューを食べる毎にポイントがたまるカードシステムや、会議用のTFT弁当を導入しました。社員一体となってTFTに参加できる環境をつくってくださっています。

株式会社資生堂(2009年からTFT導入)の社員の方々には、社内ボランティア制度を活用イベントのサポートをいただきました。2010年2月に開催した企業報告会では、資生堂社員の方々が企画運営を行い、TFT実施企業の視点に立ったコンテンツづくりを実現してくださいました。



JT本社食堂



三井物産



資生堂

# レストラン→アフリカ

これまで限られた人のみが利用できる社員食堂や学生食堂を中心に広がっていたTFTプログラムですが、一般の方でも参加できるレストランやカフェにも広がっています。

ケータリングでのTFTプログラムも始まりました。「既存の分野を越境する、次の食を提案する」をコンセプトとしているNEXT KITCHENでは、クリスマスシーズン限定のTFTヘルシーケータリングプログラムを実施しました。アボカドのキッシュやバナナのアフリカンケーキなど、TFTの支援先で食べられている素材を使い、五感を通してアフリカを理解できるヘルシーメニューをご提供いただきました。



(左から)NEXT KITCHEN、MLBCafe、カレッタ汐留

MLB cafe Tokyo(広尾)では、TFT初のキッズメニューが実現しました。タンパク質、食物繊維など、子どもの発育に必要な6大栄養素をバランスよく摂取できる、ヘルシーなセットメニューとなっています。小海老と野菜のグラタンや、ミートソーススパゲッティなど、子どもに人気のメニューを、おいしく楽しんでいただきながら、家族全員で社会貢献ができる取り組みです。

カレッタ汐留では、2010年世界食料デーキャンペーンを機に、施設内の多くのレストランがTFTプログラムを導入しました。イタリアや韓国、沖縄料理など多彩なメニューが登場しています。参加レストランの一つでは、ヘルシーメニューを寄付つきにするかしないか、お客さんに選んでいただくというスタイルをとったところ、「20円でアフリカの子どもたちに給食が届くのなら」と、寄付つきを選んでもくださる方が大多数だったとのこと。

フレンチレストラン・モワルーズ(麻布十番)では、新鮮な野菜をふんだんに用いた「こだわりの野菜」コースにてTFTプログラムが実施されています。1人分のコースメニューでアフリカの子ども1人の一か月分の給食費が寄付される仕組みです。

# 商品→アフリカ

## お取り寄せ

脂肪分ゼロで高タンパク、味わい深いとらふぐを、おうちで楽しみながら、社会貢献ができる「想い “ヘルシー贅沢な味わいセット”」が、とらふぐ亭から登場しました。



## 宅配弁当

社員食堂がなくてもTFTプログラムに参加できるよう、ケータリングお弁当会社さんの強力なサポートの下、プログラムが実施されています。



## ネットスーパー

家庭でもおいしく食べながら社会貢献に参加できる、をテーマに、オイシックスでは常時20種以上のTFT商品が販売されています。



## 自動販売機

食を越え、飲料の分野にも広がっています。「世界をつなぐ自販機」と題したヘルシードリンク専用自動販売機でもTFTプログラムに参加できるようになっています。

## BOX FOR TWO

ランチはお弁当派の方にもTFTプログラムにご参加いただく機会がうまれました。社会人サポーターチームのアイデアから生まれたTFTへの寄付つきお弁当箱「BOX FOR TWO」です。  
(製造・販売:株式会社イエロースタジオ)



## OSUSOWAKE project

BOX FOR TWOに続く、TFTグッズ第二弾として「OSUSOWAKE Project」が登場しました。エプロンやショッピングバッグなど、食関連の寄付つき商品です。  
(販売: Piece to Peace)



# 学生→アフリカ

大学や高校をはじめとする、学生たちからも、TABLE FOR TWOを通して様々なメッセージを発信しています。

TABLE FOR TWO大学連合(TFT-UA [University Association])は、日本全国の約600名の大学生で構成されている学生組織です。メンバーは所属大学の学生食堂にて、TFTプログラムの導入・運営サポートを行っています。現在では、65校の学生食堂にてTFTプログラムが実施されています。

2010年は、大学生もさらに多様な領域へ、TFT-UAの活動の場を広げました。

学園祭では、ヘルシーメニューを提供するブースを出展し、売上の一部をTFTへの寄付に充てたり、パネル展示を行う学校もありました。

都内の中学校・高校では、共に世界の食料問題について考えてみよう、というテーマのもとに出張授業を実施しました。

また、「きっかふえ」では、食事を楽しみながら、食の社会問題を考えるカフェを企画運営しています。『おしゃれなヘルシーメニュー』や『食料廃棄ゼロメニュー』のような、メニュー考案から調理まで全てメンバーたちの力で行われています。

「FUTSAL FOR TWO」では、フットサルで消費したカロリーをアフリカの子供たちへ届けよう、というコンセプトでフットサルイベントを開催しました。

食堂という場所にとどまらず、様々な視点からより多彩な人々へ、世界の食料問題について発信しています。



出張授業プロジェクト



きっかふえ



FUTSAL FOR TWO

# 日本各地での広がり

## 秋田

株式会社イヤタカでは、2009年10月から結婚披露宴でのTFTコースを提供しています。「幸せのおすそわけ」というコンセプトで、たくさんの笑顔が見られる披露宴にて、アフリカの子どもたちにも笑顔を届けようと、このコースが開始されました。

## 兵庫

TFT-UA関西メンバーを中心に、神戸にあるミドリカフェにて食料問題を考えるイベントを随時開催しています。「神戸マルシェ」での模擬店出店、世界食料デーでのイベント実施を一緒に行ってきました。

## 熊本

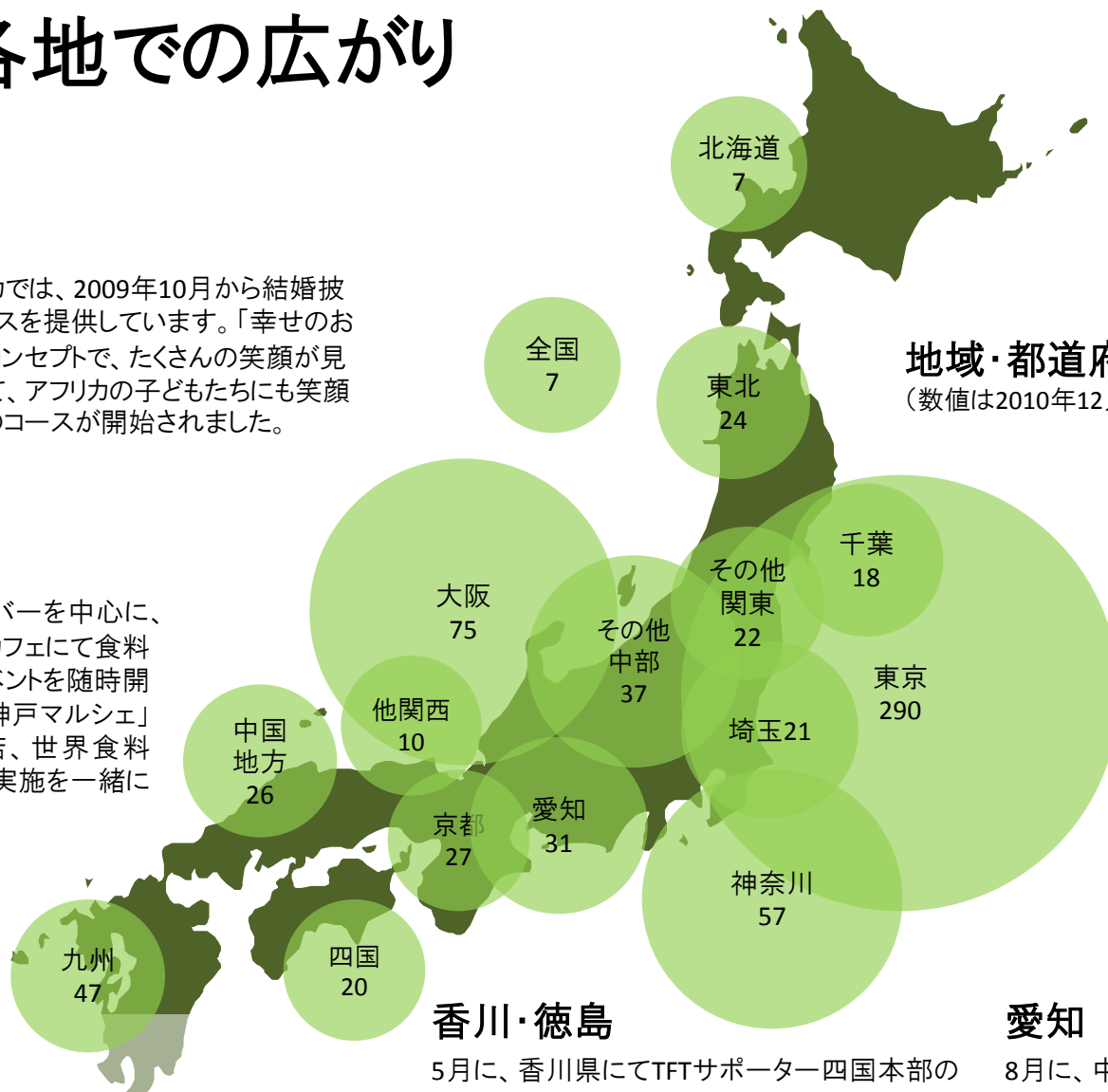
10月16日世界食料デーに、東京と同時に熊本大学でもイベントが開催されました。熊本大学TFTチームを中心に企画運営され、およそ460食もの給食をアフリカの子どもたちへ届けることができました。

## 香川・徳島

5月に、香川県にてTFTサポーター四国本部の皆さまの主催で、徳島県でも徳島文理大学にお招きいただき、講演会を行いました。普段お会いできない四国のサポーターや学生の皆さまにTFTのことをより詳しく知っていただける機会となりました。

## 愛知

8月に、中部地区のTFTサポーターの皆さまの主催で、名古屋東急ホテルにて、講演会を実施しました。講演後にはホテル内のレストランにて、TFTメニューを食べながら懇親しました。多くの方にお集まりいただき、さらなるTFT中部拡大の可能性を実感できました。



地域・都道府県ごとの実施事業所数  
(数値は2010年12月末時点)

379法人  
719ヶ所  
40都道府県

## 4月

キリンビバレッジから、TABLE FOR TWO自販機が登場しました。社員食堂がない企業でも、ドリンクを通してTFTプログラムに参加できるようになっています。



## 6月

サッカーワールドカップ2010南アフリカ大会開催を記念し、「アフリカに届け！熱いエールとあったかランチ」キャンペーンを実施しました。新たに南アフリカの学校菜園プログラムの支援も開始されました。



## 10月

10月16日世界食料デーに際し、「100万人のいただきます！」キャンペーンを実施しました。食料デー当日には、日本各地、NY、SF、ソウルをつなぎ、日本時間正午に一齐に「いただきます」を行いました。



## 10月

イギリス・アクセンチュアロンドンにて、2011年からTFTプログラムを実施いただくことが決定しました。野村グループのロンドン拠点の食堂とあわせて、イギリスでもTFTプログラムが始まります。



## 5月

JR東日本の駅ナカコンビニ・NEWDAYSにて、「カラダにいいコト×ココロにいいコト」キャンペーンを実施しました。



## 7月

TFTアメリカ支部の本部であるNYにて、大々的な立ち上げを行いました。ジャパンソサエティーでの講演、ブロックフェスティバルにてTFTメニュー販売等、より多くの方々にTFTの活動を知っていただく機会となりました。



## 10月

韓国にて「20円で世界をつなぐ仕事」韓国語版が発売となりました。今後、韓国の社員食堂・学生食堂でもTFTプログラムの導入を推進していきます。



# Events 2010

# 『アフリカに届け！ 熱いエールとあったかランチ』キャンペーン

80年の歴史を持つサッカーの祭典ワールドカップが、2010年6月初めてアフリカ大陸で開催されました。アフリカにとって記念すべき2010年に、TABLE FOR TOWのヘルシーな食事やイベントを通して、アフリカの地で暮らす子どもたちへ給食と私たちの想いを届けようというテーマのもと、『アフリカに届け！ 熱いエールとあったかランチ』キャンペーンを開催しました。

\*キャンペーン期間：2010年6月1日～7月11日の期間  
(一部参加飲食店によって前後の日程で実施)

\*後援：独立行政法人国際協力機構(JICA)

## コンビニ

JR東日本の駅ナカコンビニNEWDAYSや、横浜を中心に展開しているスリーエフにてキャンペーンが実施されました。NEWDAYSでは「カラダにいいこと×ココロにいいこと」キャンペーンを実施しました。管理栄養士を含む女性チームが中心となり監修したオリジナル商品33品目を、リセット、リラックスといったテーマ性を加えながら、働く女性に向けたメニューを展開しました。

スリーエフでは、たっぷりの野菜を用いた『豚肉とキャベツの味噌炒め弁当』をTFTメニューとして販売いただきました。チルド弁当であるこのメニューは、コンビニのお弁当ではなかなか味わえなかった、シャキッとした野菜の食感を楽しめるものとなりました。

### 【ご参加企業】

株式会社JR東日本リテールネット(NEWDAYS)、株式会社スリーエフ

## レストラン・カフェ

元サッカー日本代表・中田英寿氏がプロデュースされた「nakata.net cafe」でのご参加を皮切りに、全国のレストランでキャンペーンが実施されました。デニーズでは、南アフリカ料理をイメージした『南アフリカ風レッドマトビーフカレー』や『ドライカレーと卵のオープン焼き』が販売されました。その他にも、日本各地にてヘルシーメニューや南アフリカテイストメニューが、TFT対象メニューとして販売されました。

### 【ご参加店舗】

デニーズ  
nakata.net cafe  
KICHIRI  
ソルビバ  
陳麻婆豆腐

名古屋東急ホテル  
ババ・ガンブ・シュリンプ  
WIRED CAFE  
らーめんえにし

## イベント

フットサルをプレーして消費したカロリーを、アフリカの子どもたちへオンというコンセプトのもと、フットサルイベント“FUTSAL FOR TWO”をアディダスフットサルパーク横浜金沢にて開催しました。約200名にご参加いただき、みなさんのカロリーオフによって5,500食分の給食をアフリカに送ることができました。また、JICA地球ひろばにて、日頃からTFTを応援して下さっている皆さまとのイベント、「南アの子どもたちとSkypeでつながろう」を開催しました。今回のキャンペーンで支援がスタートした南アフリカ・オレンジファームの子どもたちと、Skypeを通じてつながり、英語、現地語を織り交ぜての会話を楽しみました。

### 【ご協力企業】

キンビバレッジ株式会社、東急スポーツシステム株式会社



# 『100万人のいただきます！』キャンペーン

10月16日の世界食料デー(世界中の人が食べ物について考える日。国連制定。)を記念し、先進国に暮らす人々がヘルシーな食事を通して、キャンペーン期間中にアフリカの小学校へ給食100万食を届けることを目指す、『100万人のいただきます！』キャンペーンを実施しました。世界食料デー当日正午に、日本・アメリカ・韓国のイベント会場で、一斉に食への感謝の気持ちを込め「いただきます」を発声しました。様々な場面を通して、食の大切さや世界が抱える食料問題について考える機会を創出しました。

\*キャンペーン実施期間;2010年10月16日(土)~11月30日(火)

## イベント

世界食料デーでの『いただきます！』イベントを初め、きつかふえではおいしくヘルシーな食事を楽しみながら食料について考えるイベントを実施しました。スポーツイベントや、大学での学園祭でも、TFTに関連したイベントが開催されました。また、TFT導入企業社員食堂にて、食生活を見つめなおす『食べ方スキル診断』も実施されました。

### 【ご協力企業】

キリンビバレッジ株式会社、株式会社電通、株式会社電通テック、日本たばこ産業株式会社、UQコミュニケーションズ株式会社、カメイ・プロアクト株式会社、日本コカ・コーラ株式会社、ソーラーフロンティア株式会社

## コンビニ・ネット通販

インターネット通販のオイシックスでは、ハロウィーンの子供向けに『ぼっちゃんかぼちゃ』を、コンビニエンスストアのスリーエフでは、1日に必要野菜の半分がとれる『肉野菜炒め弁当』が販売されました。ファミリーマートではカロリーハーフの『おいしいゼロのど飴』が全国8,000店舗にて発売され、キャンペーン期間後も店頭に並べていただいています。

### 【ご参加企業】

オイシックス株式会社、株式会社ファミリーマート、株式会社スリーエフ

## エンターテインメント

カラオケや映画館のようなエンターテインメントの領域でも、TFTプログラムに参加できるようになりました。ビッグエコーでは、フードメニュー・ドリンクメニュー各7種を、109シネマズ港北では、ミネラルたっぷりの塩「ぬちまーす」を使用したポップコーンをTFTメニューとして発売していただき、キャンペーン期間後も引き続き販売していただいています。

### 【ご参加企業】

株式会社第一興商(ビッグエコー)、株式会社東急レクリエーション(109シネマズ港北)

## レストラン

TFT初の複合施設実施として、カレッタ汐留内17店舗にて、TFTヘルシーメニューを販売して頂きました。ご好評につき、14店舗ではキャンペーン期間後も引き続きTFTメニューを販売いただいています。

### 【ご参加店舗】

- 博多水炊き 若どり
- すし善
- ジャックポット 汐留
- ラ・ペファーナ 汐留
- YAKINIKU TORAJI PARAM
- 上海老飯店(ジャンハイロウハンテン)
- ぼてぢゅう 燗
- 茶寮 都路里(つじり) / 祇園辻利(つじり)
- Café dining INDOCHINE
- 炭火焼干物食堂 越後屋基内
- 台北・点心 鼎泰豊 (ディンタイフォン)
- まる竹本舗
- VENGA VENGA
- 沖縄料理 清次郎
- 古奈屋
- 一久庵
- おむすび権米衛

# FARM FOR TWO

「食べる」だけではなく、「育てる」ことを通じて、食料やヘルシーな食生活について考えていただくきっかけを作る、それがFARM FOR TWOプログラムです。菜園で収穫された作物の販売収益や、菜園で行われるワークショップ参加費の一部が、南アフリカ学校菜園プログラムへ寄付されます。私たちの「育てる」が、アフリカの子どもたちの「育てる」につながるプログラム、それがFARM FOR TWOです。

現在、三軒茶屋コミュニティ屋上農園にてFARM FOR TWOプログラムが実施されています。マンションの住民や地域の方が集い、新しい絆をうみだす場を作りたい、という管理組合の方々の想いから、この屋上農園は誕生しました。農園の設置も自分たちの手で行い、ワークショップ等も開催しながら、人の集まる場がつけられ始めています。(三軒茶屋コミュニティ屋上農園では、ワークショップ参加費の一部をFARM FOR TWOプログラムへの寄付金として、ご寄付いただいております。)

## \*愛・地球博成果継承発展助成事業 採択

この屋上農園を通じたFARM FOR TWOプログラムの活動は、2010年度の財団法人地球産業文化研究所(GISPRI)の愛・地球博成果継承発展助成事業に採択されました。

TABLE FOR TWOでは、健康的な食事の提供を通じた給食支援プログラムからさらに発展し、健康的な食生活に必要な不可欠である農業生産にも積極的に関与していきたいと考えております。自然と接触する機会の少ない都市部に居住する人々の日常生活の中に農産物生産という「自然の仕組みから学べる」機会を創出していきたいと考えています。



愛・地球博成果継承発展助成事業  
財団法人地球産業文化研究所

三軒茶屋コミュニティ屋上農園

# ご参加企業からのプロフェッショナルサポート



## 株式会社電通

TFTプログラム参加団体の食堂やレストランで利用できる、様々な広報PRツールをデザイン、ご提供いただいています。アフリカの方角に向けて食卓に貼る矢印型テープなど、視覚的にTFTプログラムの仕組みを理解できるツールを作成いただき、数多くの団体にて実際に用いられています。

## 株式会社ニコン

TFTプログラムに参加される方に、支援先の生活や学校給食の様子をより理解して頂くために写真パネルをご提供いただいています。現地視察で撮影した写真が使用されています。なかなか見聞きいただく機会のない現地の様子が、このパネルを通じて様々な場で発信されています。



## 株式会社テレビ東京

日曜日夕方の特別番組『びっくり！カイヤ見学』では、TFT参加企業を中心に様々な企業の社会貢献活動を伝えていただきました。番組では各社の事業内容とCSR活動を、クイズ形式で紹介し、視聴者の親子が一緒に楽しめる仕掛けになっていました。放送後にテレビ東京より、TFTへのご寄付もいただきました。

参加型 みんなで社員献金テレビ  
**びっくり！カイヤ見学**

いろいろな会社の、今まで知らなかった「びっくり！」を探す企画、  
会社見学をしながら、楽しい情報を羅列していきます。

# 世界への広がり

**NOMURA**  
accenture

## イギリス・ロンドン

現在、2社(野村グループのロンドン拠点、アクセンチュア)の社員食堂にてTFTプログラムが実施されています。一般の人々の間での認知度を高めるために、ボランティアチームも動き始めています。



## 台湾

和食「えん」台北店は、海外レストランにおけるTFTプログラム実施第一号店です。現在、「自家製出来たておぼろ豆腐」などがTFTメニューとして提供されています。

## 韓国

2010年10月、韓国語版「20円で世界をつなぐ仕事」が発売されました。まだTFTプログラムは始まっていませんが、大学生・若手社会人を中心に社会事業への注目が高まっています。

이이이지 21

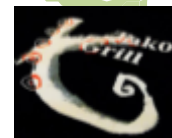
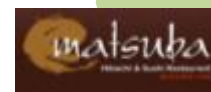
## アメリカ・NY

2008年にTFT USAが設立されたニューヨークでは、2010年にイベントやレストランを通してTFTの認知が広がりつつあります。現在、3団体(AIG/Chartis、キタノホテル・レストラン白梅、UNプラザホテル・アンバサダーグリル)にてプログラムが実施されています。また2011年2月にはFuji Cateringでの弁当配達が始まりました。



## アメリカ・ワシントンDC

日本食レストランを中心に、TFTプログラムが広がりを見せています。DC TFTメンバーがチームを組み、それぞれが各レストランと協力しながら、メニュー作成や広報活動に励んでいます。



## アメリカ・サンフランシスコ

University of San Franciscoの学生が中心となり、TFTの認知度をたかめる活動が実施されています。大学内での説明ブース設置のほか、地元映画館で食料問題に関する映画上映会なども実施しました。





## TABLE FOR TWO United States

2010年は、TFTアメリカ支部が本格始動しました。5月ニューヨーク・コロンビア大学にて開催したTFTイベントを機に、アメリカ国内での広がりはこの1年間で目覚ましいものとなりました。

アメリカ支部のあるニューヨークでは、夏のJapanブロックフェアでのTFTメニュー販売やジャパソサエティーでの講演により、徐々にTFTの認知は広がりつつあります。現在ではAIG/Chartis内社員食堂、ホテルキタノ・レストラン白梅、UNプラザホテル・アンバサダーレストランにてTFTプログラムが実施されています。

ワシントンDCでは、日本食レストランへの広がりを見せています。現在TFTプログラム実施中の6レストランでは、TFTワシントンDCメンバーと各店舗の方々と一緒に、レストラン対抗売上コンペを実施しています。それぞれがメニュー開発から広報まで一丸となって、より美味しく、楽しく社会貢献できる場を創造しています。

サンフランシスコでは大学生を中心に、学内でのTFT紹介ブースの設置や、食料問題に関する映画上映会等も実施しています。

アリゾナ州のサンダーバード大学と南カルフォルニアにあるMater Dei 高校でもTFTプログラムが導入され、その他にも、ロサンゼルス、シンシナティ、またお隣カナダのトロントでも、TFTが徐々に動き始めつつあります。



# 国際会議でのTABLE FOR TWOプログラム

## 2010年日本APEC 首脳夕食会

11月に横浜で開催されたAPEC(アジア太平洋経済協力)会議で、TABLE FOR TWOの活動をご紹介いただきました。

首脳夕食会では、21エコノミーの首脳をはじめとする226名の方々が参加され、日本国内の豊かな自然の恵みを生かした素材や日本のワインも提供され、「味わい」と「艶やか」な日本の秋を堪能できるメニューがふるまわれました。

食事とあわせて日本発のTABLE FOR TWOのコンセプトが紹介され、賛同いただけた参加者の皆さまから募金というかたちで支援を募りました。夕食会会場の入り口2カ所に設置されたTFTの募金箱には、各首脳からのご支援を中心に約13万円の募金が集まりました。



APEC首脳夕食会に設置されたTABLE FOR TWOの募金箱



## 世界経済フォーラム（ダボス会議）

スイスの保養地ダボスでは、毎年、新年に世界中の政治やビジネスのリーダーが集まって、幅広い課題について議論する「世界経済フォーラム年次会議(通称ダボス会議)」が開催されています。

TABLE FOR TWOのコンセプトは2006年に世界経済フォーラムが主催した会議の場で生まれました。2010年のダボス会議では、参加者にふるまわれる昼食や夕食などにTABLE FOR TWOの仕組みを取り入れていただきました。

さらに2011年1月のダボス会議では、TABLE FOR TWOのグローバル展開本格化にむけ、記者会見の場をいただきました。提携機関ミレニアム・プロミス代表のジェフリー・サックス教授や、TABLE FOR TWOの創設メンバーや理事も参加して、世界中から集まったリーダーたちに、TABLE FOR TWOの仕組みを知っていただく機会となりました。

# What we do ～School Feeding Program～

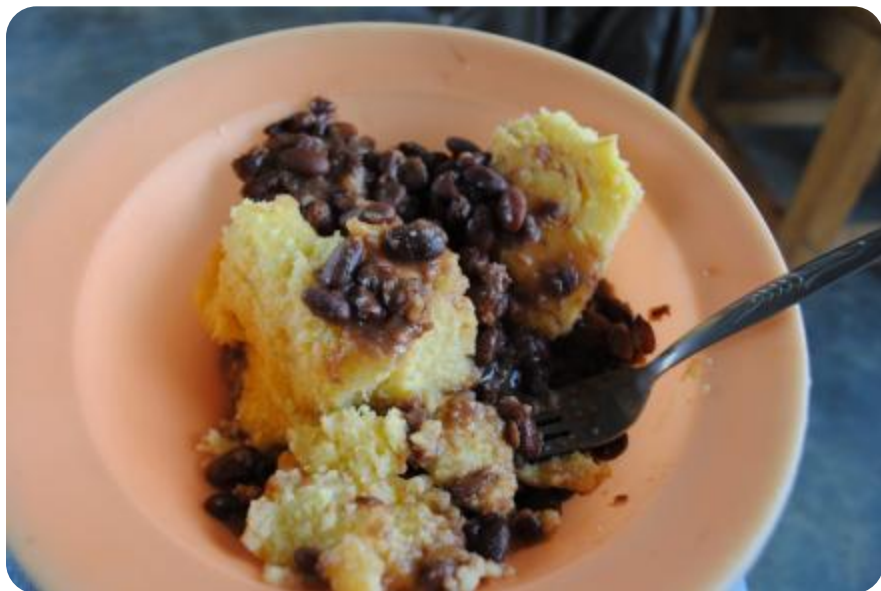
先進国でTFTのヘルシーメニューを食べることで、その一食がアフリカにて温かな学校給食に生まれ変わります。

アフリカでの給食は大きな役割を果たしています。子どもたちの健康状態を改善するだけでなく、お腹が満たされることでより学業にも集中できるようになります。また、学校給食の運営を通して、地元コミュニティに暮らす大人たちの姿勢までも変化がみられるようになってきています。



# 学校給食プログラムの概要

TFTメニューを一食召し上がっていただくと、アフリカの子どもへ一食の温かい給食が届けられます。TFTが給食を届ける地域では、日々の食事がままならない家庭も多く、学校で給食が提供されることは子どもたちにとって学校へ通う大きなインセンティブとなります。お腹いっぱいになれる、ということで子どもたちは学校へ通うようになり、子どもたちの健康状態も改善に向かいます。その結果、学業にも集中できるようになり、小学校卒業率、中学校進学率の上昇へつながり、子どもたちの将来の選択肢を広げる、重要なきっかけとなっています。



## TABLE FOR TWOが届ける給食

ウガンダ、ルワンダではポシヨと呼ばれる主食と、豆のスープが給食として提供されています。

### ポシヨ

トウモロコシの粉をお湯で練って作ったお餅のようなもの。1食で1,000～1,500キロカロリーのエネルギーを摂取可能。

### スープ

白インゲン豆のスープや大豆の粉末をかけることでたんぱく質をプラス。学校菜園で栽培した野菜や、家庭から持ち寄った野菜で栄養素を添加することもある。

給食の影響は、さらに広がりを見せています。

多くの給食実施地域では、生徒の両親や地域住民が給食プログラムの運営を担っています。給食プログラムの運営に参加することで、学校給食が子どもたちへもたらす効果を目の当たりにした大人たちは、より子どもたちの将来を真摯に考えるようになっていきます。

「ただ“支援される”のを待っているだけなのはもう嫌なんだ。給食の大切さを理解している今、自分にできることをしていきたい。」ルワンダで給食運営に携わるイノセントさんは、こう想いを話してくれました。普段は自転車修理を生業とし、お昼だけは給食運営チームの一員となっています。「子どもたちが大人になった時には、外部からの支援に頼ることなく自分の力で自立して生きていってほしい。そして、人のためにも何かできるような人になってほしい。」

マヤンゲA小学校の給食室チーフであり、生徒の親でもあるロザリエさんは、地域での意識の向上を実感しているそうです。「これまでは子どもを学校にやりたがらない親もいたんです。でも私たちが給食が学習にもたらす効果について話すと、彼らも少しずつ給食の重要性を理解してくれるようになったんです。今ではもっと多くの子どもたちに給食が出せるよう、自分たちで給食室の増築をやっているのよ。」



# 学校給食を支援する理由

TFTでは、アフリカのエチオピア、ウガンダ、ルワンダ、マラウイの4か国で給食事業を、また南アフリカにて学校菜園プログラムを支援しております。これらの国々は、以下3つの理由から選定されています。

## 1. 深刻な貧困状況が生じている

(5歳未満の子どもの20%以上が基準体重未満)

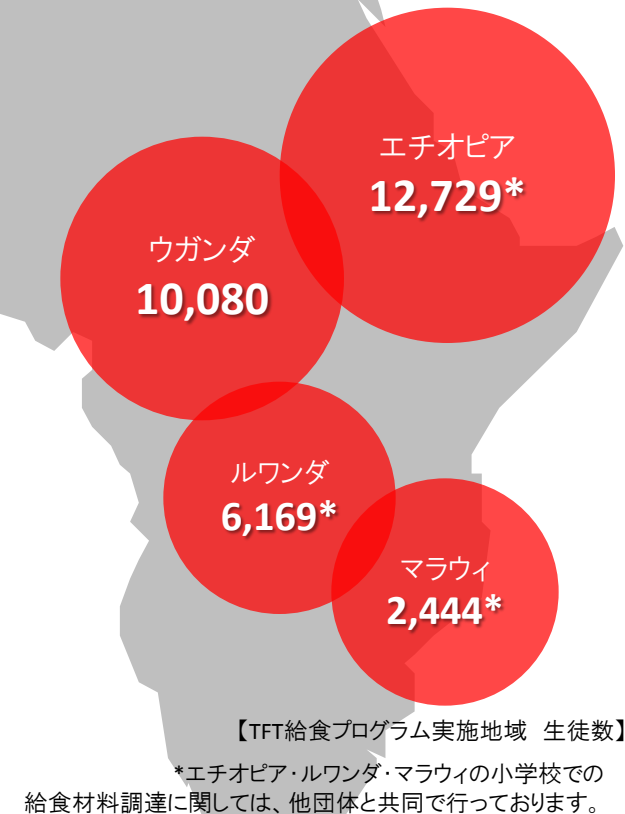
- 貧困の影響を最も受けやすい子どもたちに焦点を当て、国内の子どもの20%以上が基準体重値を満たしているか否かを、貧困レベルを評価する指標としております。
- UNDPのHuman Development Index(2007-2008)によると、基準体重値に満たない5歳未満の子どもは、ウガンダ、ルワンダで23%、マラウイで22%存在します(米国では2%)

## 2. 政情が安定している

- TFTでは、支援国内にクーデタや紛争などが起きていないこと、もしくは直近で起こっていないことを確認します。
- 支援する給食事業の運営では、安全なロジスティクス網や人材確保が必須となります。そのためには、比較的政情が安定していることが求められるのです。

## 3. 給食事業の管理・報告体制が整備されている

- 日本国内で集められた寄付金が、現地ではどのように使われ、どのような効果を生みだしているのか、支援者の皆さんに報告することが、活動を継続していく上で重要であると考えています。そのために必要な情報を収集するには、現地で管理・報告体制がきちんと整備されていることが必要になります。
- TFTでは現地との定期的なコミュニケーションに加えて、4半期に1度現地視察を行い事業の実施状況を確認します。



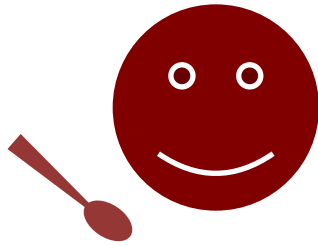
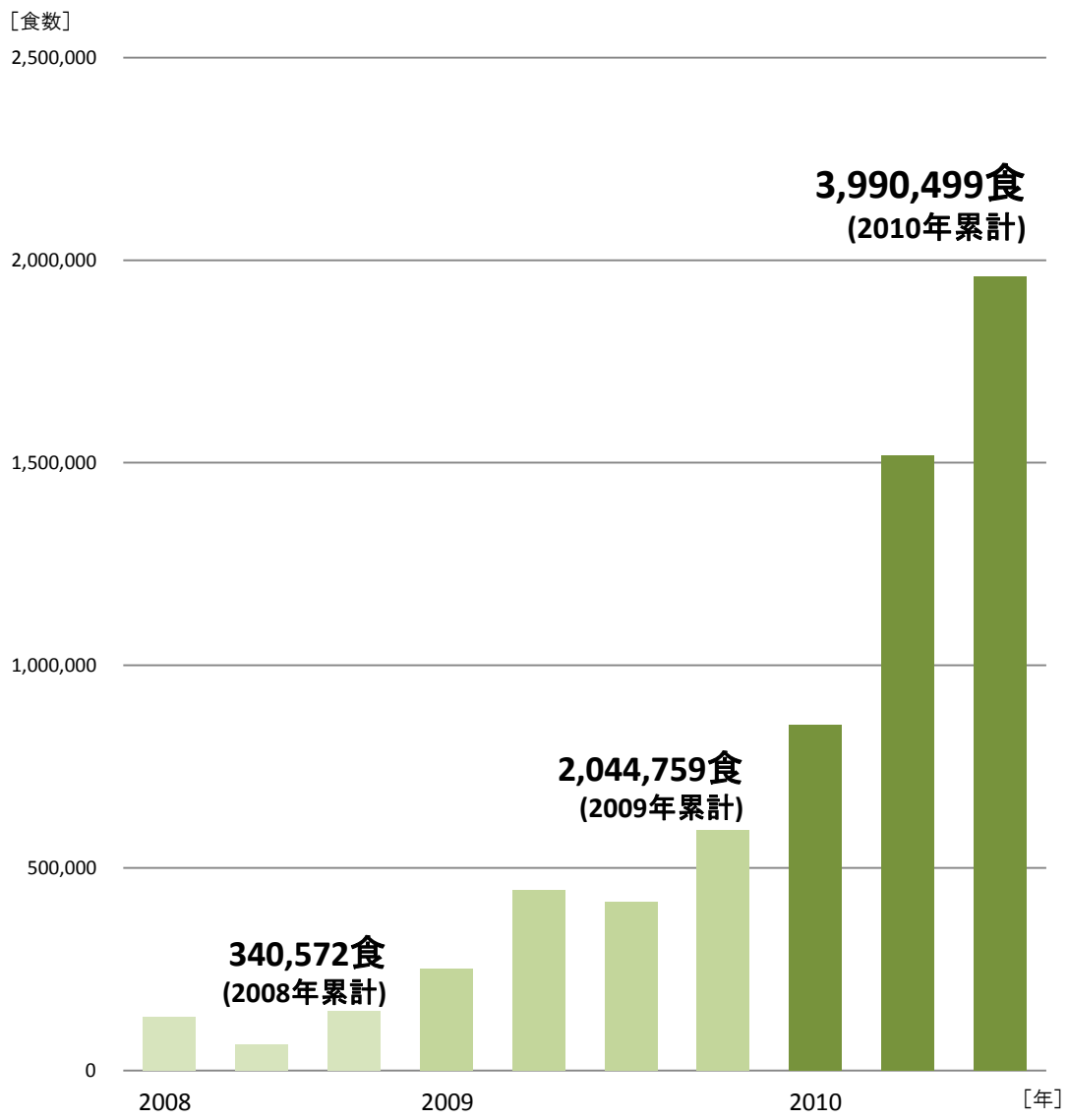
実際に給食を提供する際には、現地で活動を行っている団体とパートナーシップを結び、また現地住民とも協働することで、より効果的に給食プログラム・学校菜園プログラムを運営できるような体制を整えています。

学校給食プログラムでは、現地コーディネーターが調整役となり、学校給食の導入を進めます。彼らが地域の学校へ食材を支給し、同時に適切な調理方法を伝授します。材料と知識を得た地域住民たちは、学校と協働しながら給食プログラムを運営していきます。給食に携わる地域の人々は、給食の調理はもちろん、給食に栄養価を加えるために自ら野菜を持ち寄ったり、また燃料を持ち寄ることで給食プログラムの燃料費を自ら負担する人もいます。給食の効果により生徒数が増えている学校では、給食室の増築まで行ってしまう、頼もしい人々も大勢います。

# これまでの学校給食支援と効果

## これまでの累計支援食数\*

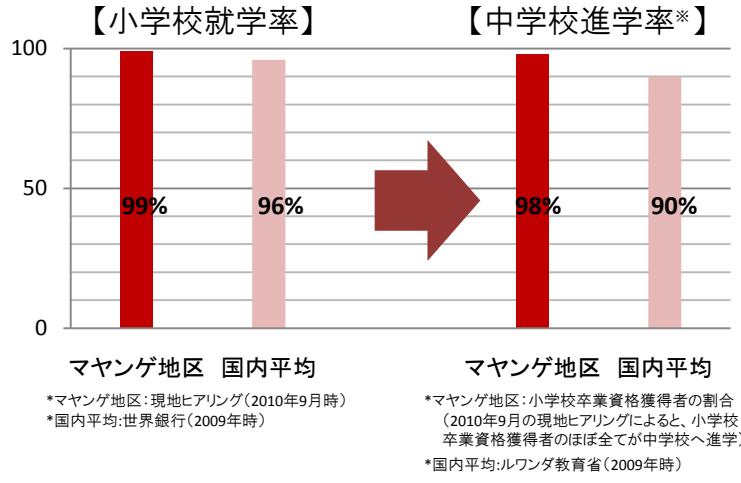
\*現地へ送金した額をもとに給食数を概算。



約**18,000**人

1年間給食を食べられる  
子どもの人数  
(2010年累計)

## ルワンダでの成果

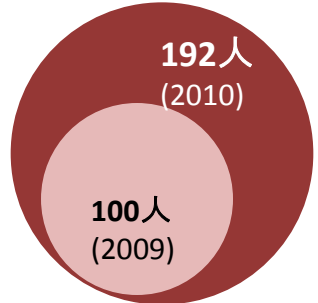


※ルワンダでは、2009年より9年間(小学校6年・中学校3年)義務教育制度がスタートしている  
※中学校に入学するためには、小学校6年生修了時に卒業試験に合格していなければならない

## 【幼稚園就学児童数】

\*マヤンゲ地区での数値  
(2010年9月現地ヒアリング)

※ルワンダでは、幼稚園教育がまだ普及しておらず、Millennium Village Projectの一環であるマヤンゲ地区でモデル的に実施されている。





# Ethiopia

2010年9月、エチオピア北部エリトリア国境近くに位置するハウゼン地区内11の村々にて、TFTによる学校給食プログラムが開始されました。2008年、エチオピアは大干ばつに襲われ、特にハウゼン地区はエチオピア内でも最も深刻な干ばつに見舞われ、収穫高はかつての2割以下まで激減しました。子どもたちは、家庭で食べる食料もままならず、以前は別団体によって支援されていた学校給食プログラムも中断されてしまいました。学校給食がない時期の様子を村の小学校のある先生に尋ねたところ、ほぼ空腹のまま炎天下の道を何キロも歩いて通学する子どもたちも多く、栄養不足から教室で失神してしまう子も珍しくなかったそうです。現在では学校給食が再開され、学校がある日はおよそ13,000人もの子どもたちが温かい給食を食べられるようになっています。子どもたちは、通常の学校給食(メイズ、小麦、ひよこ豆等)の他、週に3回バナナ、オレンジ、ゆで卵などが支給されています。これらによって、普段の食生活ではまかないきれない、ビタミンやミネラルが摂取できるようになっています。

※学校給食運営はTFTの提携NPOであるミレニアム・プロミスの主導で実施されています。小学校での給食材料調達に関しては、他団体と共同で行っています。



# Rwanda

ルワンダの首都キガリから30キロ程南へ向かった地に位置するマヤンゲ地区にて、TFTによる学校給食プログラムが実施されています。2007年のTFT設立時から、この地域内にある5校の小学校にて学校給食プログラムを実施してきています。そして2010年9月から、さらに3校の幼稚園にて給食が届けられています。

ルワンダにはこれまで幼稚園がほとんど存在せず、幼い子どもたちは親たちが農作業などの仕事をしている間は、近所の一つの家へ集められていました。そこでは、何らかの教育活動が行われるわけでもなく、ただ多数の子どもたちを1~2人の大人が預かっているのみという状態が続いていました。また幼稚園が無いことにより、本来ならば小学校へ行くべき年齢の子どもたちが、親のかわりに幼い弟妹の世話をしなければならず、小学校へ通えないという状況も生まれていました。

2009年からの学校給食により、幼稚園に通う幼い子どもたちも、ポリッジと呼ばれるほのかに甘いお粥のようなものを給食として食べることができるようになりました。この給食の評判は、瞬く間に地域に広がり、給食が開始された直後から地元の親たちが自分の子どもたちを幼稚園に通わせようと、続々と幼稚園に集まり始めています。

※マヤンゲ地区の給食運営はTFTの提携NPOであるミレニアム・プロミスの主導で実施されています。小学校での給食材料調達に関しては、他団体と共同で行っています。  
※幼稚園給食プログラムは、ルワンダ南西部バンダにおいても現地NGO・カゲノとの協働で実施しています。



# Uganda

ウガンダ南西部に位置するルヒイラ地区にある21の小中学校にて、2007年からおよそ1万人の子どもたちの給食を支援しています。この地域では、学校菜園も盛んに行われており、給食の原材料をできる限りその土地で生産しようと努力しています。各学校の菜園では、鉄分が豊富な豆や栄養価が高められたメイズ、そしてキャベツやニンジン、なす、トマトなどの様々な野菜も栽培されています。また菜園での栽培方法についても、正しい方法を学びながら、学校菜園を運営しています。学校菜園を通して、子どもたちの健康状態はより良く維持されるようになり、また子どもたちを通して家庭・コミュニティーへも正しい栽培方法の知識が伝播されるようになります。調理の際にも、環境への配慮がなされています。給食を準備する際には、大きなかまどに薪をくべて火を起こしながら調理するのが通常ですが、薪の量を従来のおよそ半分に削減できる、環境配慮型の調理用かまどが使われ始めています。学校菜園や省エネ型かまどなど、地域にとって持続可能性の高い学校給食プログラムが、ルヒイラ地区では実施されています。

※学校給食運営はTFTの提携NPOであるミレニアム・プロミスの主導で実施されています。



# Malawi

マラウィ南部、モザンビークとの国境近くにあるムワンダマ地域内小学校6校にて、約2,400人の生徒たちへ給食を届けています。給食プログラム実施の結果、就学率は給食実施以前と比較すると45%上昇しており、この地域全体の就学率は95%まで達し、マラウィ国内平均89%を上回るまでに至っています。

この地域では、環境に配慮した調理方法も実践されています。2010年には、6校の小学校に各2機ずつの省エネ型調理用かまどが設置され、給食調理に用いられています。また以前は調理用燃料を確保するために、地域周辺にある森林を伐採していました。しかし現在では、この地域内に木々を植林するプロジェクトが進行しており、かつての伐採で失われた森林の再生が行われています。そして、燃料として使われた木々を植林すると同時に、様々な果樹も植林されており、ここで収穫された果物は学校給食の原材料の一部として用いられています。

※学校給食運営はTFTの提携NPOであるミレニアム・プロミスの主導で実施されています。小学校での給食材料調達に関しては、他団体と共同で行っています。



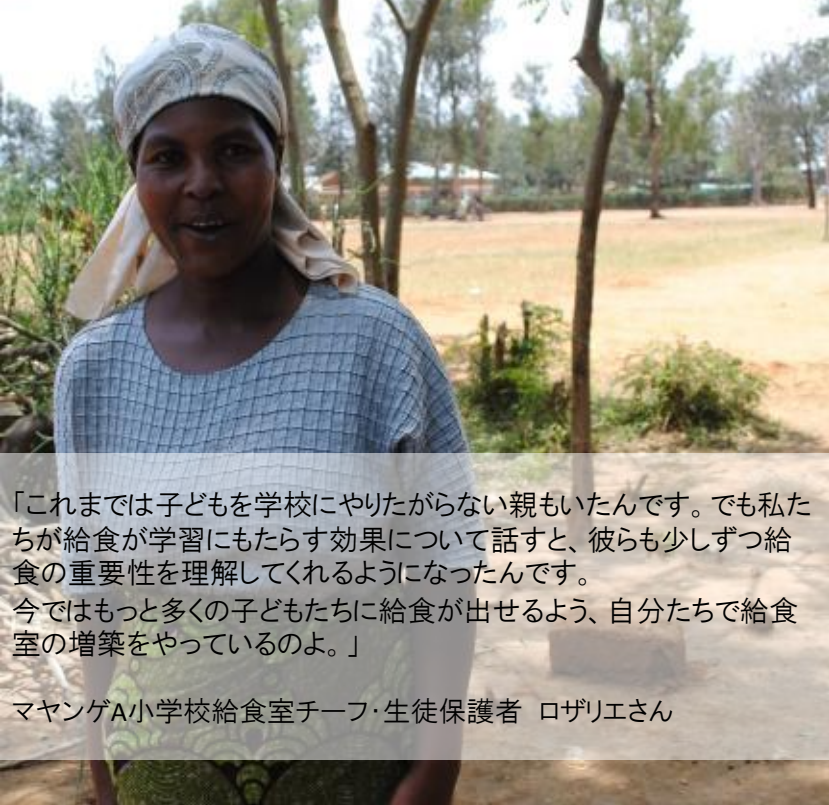
## South Africa

南アフリカの首都プレトリアから南へおよそ70kmの地に、オレンジファームは位置しています。2010年7月から、TFT初となる学校菜園プログラムの支援を、この地域の小学校にてスタートしています。

南アでの学校菜園プログラムは、子どもたちのより健康的な食生活の実現を目指しています。南アでは各地方自治体から公立学校へ、学校給食用の食料が支給されています。一定量の食事量は摂取できる一方、その内容はメイズやキャッサバのみというように栄養の偏りが見られます。そのような状況を打開し、より健康的な学校給食を子どもたちが食べられるよう、南アの多くの公立小学校では、学校菜園が実施されています。

栄養改善の他にも、学校菜園は数多くの良い影響をもたらします。まず菜園を運営するために、生徒・教師はガーデニングスキルを習得し、また調理のための栄養教育も受けます。そして、学校で培ったガーデニングスキル・栄養教育を学校内にとどめるのではなく、自らの家庭へと還元するよう奨励しています。長期的には、生徒・教師を通して各家庭へ伝えられたこれらの知識が、地域の小規模農業の発展につなげることを目指しています。

※学校菜園運営はINMED Partnership for Childrenと共同で行っています。



「これまでは子どもを学校にやりたがらない親もいたんです。でも私たちが給食が学習にもたらす効果について話すと、彼らも少しずつ給食の重要性を理解してくれるようになったんです。今ではもっと多くの子どもたちに給食が出せるよう、自分たちで給食室の増築をやっているのよ。」

マヤンゲA小学校給食室チーフ・生徒保護者 ロザリエさん



「昨日の夜は、豆とポテトを食べました。いつもは豆やポテトが多いけど、牛肉が一番好きな食べ物です。好きな科目は、英語です。将来は、一生懸命勉強して看護師になりたいです。」

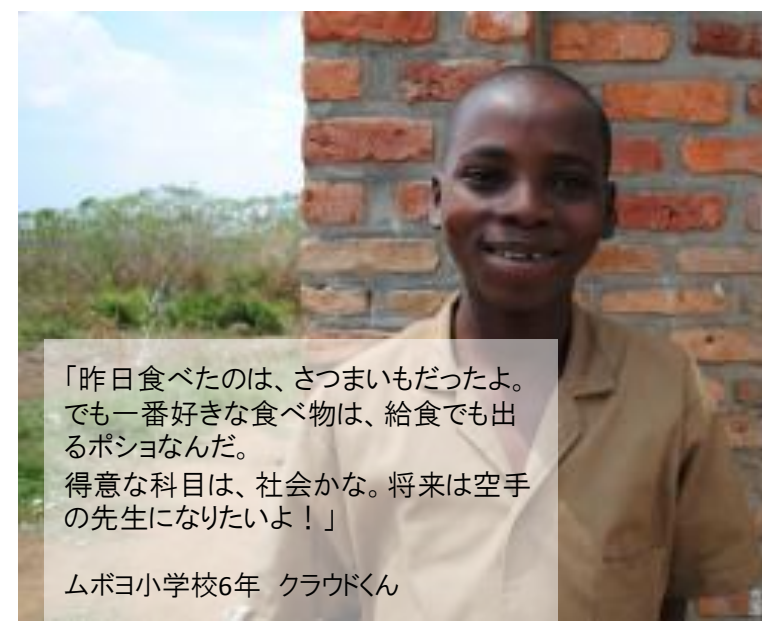
ムボヨ小学校6年 アリスさん

## - ルワンダからの声 -



「学校給食プログラムは本当に重要なもの。学校給食のおかげで、子どもたちは無理に学校へ行かされるのではなく、自ら喜んで学校へ行くようになった。また私たち親たちも、毎日のお昼に子どもたちのごはんの準備をしなければ、という心配をしなくてよくなった。しかし、いつか終わってしまうのではないかという不安がいつもある。このプログラムがずっと続くことを祈っているよ。」

ムボヨ小学校生徒保護者  
マティアスさん(左)



「昨日食べたのは、さつまいもだったよ。でも一番好きな食べ物は、給食でも出るポシヨなんだ。得意な科目は、社会かな。将来は空手の先生になりたいよ！」

ムボヨ小学校6年 クラウドくん



# 支援先小小学生徒数

(2010年9月時点)

## エチオピア・コラロ地区

| 学校名               | 生徒数    |
|-------------------|--------|
| Addibre*          | 1,283  |
| Adi-Desta/Meshel/ | 532    |
| Debre-Tsehay      | 197    |
| Dgum              | 1,205  |
| Endatsebela       | 1,206  |
| Hadinet           | 221    |
| Hadush-Addi       | 770    |
| Hatset            | 238    |
| Kokhi-Azaz        | 1,131  |
| Mai-Gundi         | 349    |
| Mai-Tekeli        | 90     |
| Mai-Tseba         | 109    |
| Mai-Welel         | 56     |
| Megab             | 1,120  |
| Mongoleats        | 288    |
| Qoraro            | 572    |
| Selae             | 295    |
| Sluh              | 158    |
| Suta              | 369    |
| Tala              | 179    |
| Tsehaf-werdi      | 1,232  |
| Welel             | 1,129  |
| 総生徒数              | 12,729 |

## ウガンダ・ルヒイラ地区

| 学校名          | 生徒数    |
|--------------|--------|
| Ruhiira      | 304    |
| Ryamiyonga   | 222    |
| Ngoma        | 376    |
| Omwicwamba   | 642    |
| Myakamuri    | 682    |
| Ntungu Boys  | 355    |
| Ntungu Mixed | 378    |
| Nyakitunda   | 520    |
| Rwentsinga   | 552    |
| Kabugu       | 500    |
| Isingisha    | 484    |
| Kabuyanda c  | 805    |
| Nyampikye    | 553    |
| Kaaro        | 249    |
| Kagoto CU    | 571    |
| Kagoto Rc    | 405    |
| Kanywamaizi  | 610    |
| Kigabagaba   | 378    |
| Rwabyemera   | 457    |
| Migyera      | 457    |
| Kisyoro      | 580    |
| 総生徒数         | 10,080 |

## ルワンダ・マヤンゲ地区

| 学校名                       | 生徒数   |
|---------------------------|-------|
| Mayange A Primary School* | 1,461 |
| Mayange B Primary School* | 1,085 |
| Kamabuye Primary School   | 1,242 |
| Muyenzi Primary School*   | 1,411 |
| Mboyo Primary School      | 586   |
| 生徒総数                      | 5,977 |

## マラウィ・ムワンダマ地区

| 学校名                     | 生徒数   |
|-------------------------|-------|
| Linjidzi Primary School | 453   |
| Mwandama Primary School | 222   |
| Dindi Primary School    | 442   |
| Katete Primary School   | 542   |
| Gala Primary School     | 386   |
| Linthipe Primary School | 399   |
| 総生徒数                    | 2,444 |

※学校給食運営はTFTの提携NPOであるミレニアム・プロミスの主導で実施されています。一部の地域での給食材料調達に関しては、他団体と共同で行っています。

# TABLE FOR TWO

TFTが届ける先進国での健康的な食事、そして開発途上国での温かい給食。これらは、TFTを支えてくださる方々の力無しで成し遂げられるものではありません。TFTプログラムにご参加いただくことを通して、また運営面でのサポートを通して、様々な形で多くの方々に支えられながらTABLE FOR TWOは先進国・開発途上国でのプログラムを推進しています。



# TFTの運営を支えてくださる方々

TABLE FOR TWO運動の輪を広げ、社会事業を育成するために、多くの方々から心強いサポートをいただいています。(役職等は2011年4月1日現在)

## パートナー

パートナー企業には資金のご提供をいただいております。TABLE FOR TWOの輪を広げ、社会事業を育成するために、力強いご支援をいただいています。



## アドバイザー

アドバイザーの方々にはTFTの戦略、運営に関するご相談をさせていただき、アドバイスをいただいております。

|       |  |
|-------|--|
| 石倉洋子  | 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科教授                          |
| 川口順子  | 参議院議員 元外務大臣                                      |
| 黒川清   | 元内閣特別顧問  |
| 小泉 泰郎 | ゴールドマン・サックス証券株式会社 投資銀行部門<br>資本市場本部 マネージング・ディレクター |
| 竹中平蔵  | 慶應義塾大学教授 グローバルセキュリティ研究所所長                        |
| 田村 次朗 | 慶應義塾大学法学部 教授                                     |
| 三國清三  | シェフ、株式会社ソシエテミック代表取締役                             |

## 創設者会議

創設者会議は、TFTの活動に対する協力と、理事会における重要な意思決定に対するアドバイスを行います。TFT創設者の3名によって構成されています。

|           |                |
|-----------|----------------|
| 近藤正晃ジェームス |                |
| 堂前宣夫      | 株式会社ユニクロ上席執行役員 |
| 古川元久      | 衆議院議員          |

## プロフェッショナル・サポーター

プロフェッショナル・サポーターの方には、法務、財務、ウェブ構築などの専門的な分野にて、サポートをいただいております。

渡辺 伸行 様 TMI総合法律事務所 弁護士  
佐藤 俊司 様 TMI総合法律事務所 弁理士  
相澤 光江 様 村瀬 悟 様 ビンガム・マカッチェン・ムラセ外国法事務  
弁護士事務所 坂井・三村・相澤法律事務所(外国法共同事業) 弁護士  
林 万里子 様 税理士  
佐佐木 由美子 様 社会保険労務士  
松永 由美 様 WEBデザイナー

## 社会人サポーター

社会人サポーターの皆さんは本業を持ちながら、勤務時間外に様々なアイデアとスキルを駆使して、TABLE FOR TWOの活動を支えてくださっています。

- TABLE FOR TWOサロン: TFTの活動に興味を持ってくださる方が集まる場「サロン」や読書会を隔月のペースで開催いただきました
- BOX FOR TWOチーム: TFTオリジナルの寄付つきお弁当グッズ「BOX FOR TWO」が発売されました。パパと子ども向けの料理教室イベントも開催しました
- VegeTABLE FOR TWOチーム: 規格外野菜を利用したパーティーやワークショップを兼ねたBBQイベントが開催されました
- 名古屋、関西、四国、九州でも社会人サポーターの皆さんが独自の活動を展開してくださっています

## 学生サポーター



全国で約600名の大学生が、TABLE FOR TWO大学連合の活動に加わってくださっています。各大学での活動にとどまらず、コア・メンバーが中心となって、大学ごとの連携や、TABLE FOR TWO大学連合としての企画を推進してくださっています。

# ご参加企業一覧

2010年1月から12月までの1年間、以下の企業・団体の食堂・商品にてTFTプログラムを導入いただきました。

(2010年度以前から継続してご参加いただいている企業も含まれます) ※敬称略・ご参加順

## 企業

伊藤忠商事株式会社  
日本アイ・ピー・エム株式会社  
株式会社ファミリーマート  
NEC  
東京海上日動火災保険株式会社  
中央三井信託銀行株式会社  
鹿島建設株式会社  
株式会社ボーラ・オルビスホールディングス  
株式会社りそな銀行  
株式会社埼玉りそな銀行  
株式会社近畿大阪銀行  
日立建機株式会社  
株式会社アルバック  
株式会社ホテルオークラ東京ベイ  
毎日新聞社  
豊田通商株式会社  
京都新聞社  
株式会社中村屋  
住友化学株式会社  
積水化学グループ  
積水化成工業株式会社  
積水樹脂株式会社  
株式会社野村総合研究所  
株式会社ホテルオークラ神戸  
アサヒビール株式会社  
株式会社日立製作所  
三井住友海上火災保険株式会社  
株式会社デジタル  
大塚製薬グループ  
株式会社ハタノ製作所  
マルヤス工業株式会社  
大日本スクリーン製造株式会社  
エスエス製薬株式会社  
三井物産株式会社  
トッパン・フォームズ関西株式会社  
ソニー株式会社 仙台テクノロジーセンター  
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社  
株式会社ニチレイ  
住友商事株式会社  
ソニーイーエムシーエス株式会社  
HSBCグループ  
西濃運輸株式会社  
株式会社遠鉄百貨店  
長瀬産業株式会社  
日本交通株式会社

コニシ株式会社  
株式会社NTTデータ  
株式会社損害保険ジャパン  
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)  
株式会社ニチレイフーズ  
住化不動産株式会社  
株式会社キャリアサポート  
住友化学労働組合  
朝日化学工業株式会社  
住化加工紙株式会社  
住化アルケム株式会社  
住友ダウ株式会社  
株式会社住化技術情報センター  
住化カラー株式会社  
株式会社住化分析センター  
住化農業資材株式会社  
日建設計総合研究所  
株式会社トクヤマ  
株式会社高島屋新宿店  
GEヘルスケア・ジャパン株式会社  
三井生命保険株式会社  
カバヤ食品株式会社  
東京ガス株式会社  
シャープ株式会社  
日本郵船株式会社  
株式会社ラッシュジャパン  
株式会社日立プラントテクノロジー  
ジェコス株式会社  
千代田化工建設株式会社  
ポッシュ株式会社  
ポッシュパッケージングテクノロジー株式会社  
ポッシュ・レックスロス株式会社  
トア再保険株式会社  
全日本空輸株式会社  
株式会社三井住友銀行  
ココロ株式会社  
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ  
福岡銀行  
熊本ファミリー銀行  
親和銀行  
株式会社資生堂  
チャーティス・ファー・イースト・  
ホールディングス株式会社  
AIU保険会社  
アメリカンホーム保険会社  
アリコ  
(アメリカン・ライフ・インシュランス・カンパニー)

住友生命保険相互会社  
ITCネットワーク株式会社  
パナソニック株式会社  
パナソニック株式会社オートモーティブシステムズ社  
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社  
日本放送協会  
春日井製菓株式会社  
株式会社アルピオン  
岡谷鋼機株式会社  
株式会社愛媛銀行  
TIS株式会社  
株式会社ラウンドアバウト  
ロイヤルホールディングス株式会社  
株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント  
アイシン精機株式会社  
日本電信電話株式会社  
日本電子株式会社  
株式会社ザ・ウインザーホテルズ・インターナショナル  
花王株式会社  
味の素株式会社  
株式会社ティーガイア  
三菱商事株式会社  
株式会社電通  
日本オラクル株式会社  
株式会社村田製作所  
メルリランチ日本証券株式会社  
株式会社東京放送ホールディングス  
JSR株式会社  
株式会社ニコン  
NTTコミュニケーションズ株式会社  
株式会社タケウチ  
住友スリーエム株式会社  
講談社  
株式会社カネカ  
株式会社日本政策投資銀行  
パナソニックエコシステムズ株式会社  
山形スリーエム株式会社  
日立電子サービス株式会社  
第一三共株式会社  
オムロン株式会社  
株式会社キッツ  
日本テレビ放送網株式会社  
アライドアーキテクト株式会社  
NTTコムウェア株式会社  
株式会社丸井グループ  
株式会社百十四銀行  
住商情報システム株式会社

株式会社日立メディアエレクトロニクス  
サンケン電気株式会社  
ソニーセミコンダクタ九州株式会社  
株式会社朝日新聞社  
東京電力株式会社  
日本たばこ産業株式会社  
三桜工業株式会社  
ソフトバンクBBグループ  
株式会社北洋銀行  
パークレイズ・キャピタル証券株式会社  
パナソニック株式会社AVCネットワークス社  
三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社  
株式会社テレビ東京  
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社  
ファーストステージ株式会社  
株式会社イーテック  
日本ガイシ株式会社  
日本興亜損害保険株式会社  
新日鉄エンジニアリング株式会社  
オリンパスメディカルシステムズ株式会社  
オリンパス株式会社  
会津オリンパス株式会社  
株式会社オーゼス総研  
株式会社プリヂストン  
株式会社デンソーウェーブ  
デンソーエレクトロニクス株式会社  
株式会社電通国際情報サービス  
野村グループ  
NTTソフトウェア株式会社  
丸紅株式会社  
清水建設株式会社 技術研究所  
キューピー株式会社  
昭和電工株式会社  
双日総合管理株式会社  
SAPジャパン株式会社  
三菱レイヨン株式会社  
パナソニック株式会社 人材開発カンパニー  
トッパン・フォームズ株式会社  
株式会社アンカーネットワークサービス  
株式会社みずほフィナンシャルグループ  
三菱重工工業株式会社  
青森オリンパス株式会社  
千秋オフィスサービス株式会社  
大成建設株式会社  
学研グループ  
  
他1団体

# ご参加企業一覧

2010年1月から12月までの1年間、以下の企業・団体の食堂・商品にてTFTプログラムを導入いただきました。

(2010年度以前から継続してご参加いただいている企業も含まれます) ※敬称略・ご参加順

## 学校

大妻女子大学  
大阪成蹊大学  
京都学園大学  
京都光華女子大学  
京都市立芸術大学  
京都精華大学  
花園大学  
京都造形芸術大学  
学校法人明治東洋医学学院  
明治国際医療大学  
京都外国語大学  
清泉女学院大学・短期大学  
聖心インターナショナルスクール  
聖カトリナ大学・短期大学部  
国立大学法人熊本大学  
学校法人城西大学  
千葉大学  
お茶の水女子大学  
筑波大学  
青山学院大学  
獨協医科大学  
大分大学  
宮崎大学  
西南学院大学  
静岡県立大学  
早稲田大学  
金城学院大学  
滋賀医科大学  
京都大学  
東京外国語大学  
徳島文理大学  
鹿児島大学  
九州大学  
学校法人福岡工業大学  
同志社大学  
埼玉大学  
愛媛大学  
佐賀大学  
聖カトリナ女子高等学校  
三重大学  
神奈川大学  
東海大学短期大学部  
大阪大学  
東京工業大学

明治大学 和泉の社

学校法人松商学園 松本大学

法政大学

慶應義塾大学

武蔵大学

国際基督教大学

関西大学

桜美林大学

学校法人聖心女子学院 聖心女子大学

一橋大学

九州工業大学

山口県立大学

西南女学院大学

長崎大学

名古屋大学

大阪府立大学

東京農業大学

東洋大学

九州国際大学

甲南女子大学

阪南大学

大阪産業大学

学校法人資生堂学園

## 病院

医療法人社団ワイズレディスクリニック

飯沼病院

佐世保中央病院

熊本大学病院

白十字病院

社会保険中京病院

茨城県立中央病院

聖路加国際病院

茨城県立中央病院

社会福祉法人恩賜財団済生会支部

栃木県済生会宇都宮病院

## 官公庁、公的機関

参議院

外務省

経済産業省

文部科学省

財務省

農林水産省

相模原市職員厚生会

防衛省共済組合

文京区役所職員互助会

国土交通省

特許庁

横浜市職員厚生会

厚生労働省

大和市

内閣府

法務省

人事院

茨城県庁生活協同組合

衆議院

高山市役所

国立国会図書館

大阪市役所

足立区職員互助会

日本政策金融公庫

柏市職員組合

立川市役所

品川区職員互助会

札幌国税局(札幌第2合同庁舎)

## その他

埼玉県年金福祉協会共済会

独立行政法人国際協力機構

社会福祉法人武蔵野

独立行政法人宇宙航空研究開発機構

独立行政法人理化学研究所

信金中央金庫

株式会社佐藤商会

名古屋住友クラブ

NPO日本食育インストラクター協会

社会福祉法人みその福祉会

日経新聞経堂専売所

大阪リバーサイドロータリークラブ

社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会

他1団体

## 外食店

陳麻婆豆腐

東京トンテキ

ポーラ美術館

旬菜 まんげつ亭

株式会社梅の花

株式会社イヤタカ

デニーズ

株式会社名古屋東急ホテル

ソルビバ株式会社

カフェ・カンパニー株式会社

東京国際ゴルフ倶楽部

夢・物語 飲み食い処 青やぎ

国際桜ゴルフ倶楽部

株式会社京王プラザホテル札幌

札幌グランドホテル

株式会社グランビスタホテル&リゾート

札幌パークホテル

株式会社プリンスホテル札幌プリンスホテル

株式会社札幌後楽園ホテル

ホテルオークラ札幌

株式会社北海道ホテル

株式会社ホテルニュー王子

高松国際ホテル

株式会社いんでいら

MiLK café

新潟県護国神社 迎賓館 TOKIWA

らーめんえにし

有限会社東京庵

Cafe & Bar O+

Green Ginger Cafe

株式会社きさちり

株式会社寿

有限会社やましち

cafe causa

株式会社命菓

スペインバル カサ・デ・マチャ

うるとらカフェ(のらりくらり)

Betterave

nakate.net cafe

グランプラザ中津ホテル

ホテルグランヒルつたや

unmarble

ティーダ

ビッグエコー

アオテアランギ

Urban Indian Foods 株式会社

アマンド

株式会社GIZMO

パパ・ガンブ・シュリンプ

伊勢屋商事株式会社

有限会社colors

109シネマズ港北

自然食カフェ グラン

株式会社豆の木

MOELLEUSE

株式会社良蔵

札幌サンプラザ

博多・中洲國廣 東京芝大門店

創作鉄板ダイニング プランチャ

国際企業株式会社

はいさいキッチン 代官山

株式会社サンホテル

DONBURI CAFE DINING bowls

カレッタ汐留

有限会社オープンセサミ

ロイヤル高松カントリークラブ

縁さくら

ミールケアげんきっちゃん

## 弁当・宅配

かつみ工房

夢之膳兵衛

株式会社東京正直屋

有限会社E.C.プランニング

有限会社新見仕出し弁当店

株式会社フェイバリット

株式会社ディナーサービス・

コーポレーション

ネクストキッチン

## 小売・その他

オイシックス株式会社

有限会社ヴィアライブ

長うら一等米工房

株式会社ファミリーマート

株式会社佐藤商会

株式会社東京一番フーズ

有限会社かつば橋まえ田

株式会社イエロースタジオ

株式会社JR東日本リテールネット

(NEWDAYS)

Piece to Peace

株式会社ダイヤモンドヘッズ

株式会社スリーエフ

# ご参加企業一覧

2010年1月から12月までの1年間、以下の企業・団体の食堂・商品にてTFTプログラムを導入いただきました。

(2010年度以前から継続してご参加いただいている企業も含まれます) ※敬称略・ご参加順

## 食堂運営会社・ベンダー

エームサービス株式会社  
西洋フード・コンパスグループ株式会社  
シダックスフードサービス株式会社  
株式会社日京クリエト  
日本給食サービス株式会社  
ユーレストジャパン株式会社  
株式会社魚国総本社  
トヨタ生活協同組合  
東京ジューキ食品株式会社  
株式会社不二家商事  
ジャパンウェルネス株式会社  
ロイヤルコントラクトサービス株式会社  
株式会社グリーンハウス  
株式会社セブン&アイ・フードシステムズ  
株式会社レオック東京  
株式会社レストラン・モア  
初花  
株式会社フジランド  
フジ産業株式会社  
株式会社テストイバル  
一富士フードサービス株式会社  
株式会社マックス  
株式会社エル・スエヒロフードサービス  
株式会社NECライベックス  
株式会社宮重コーポレーション  
株式会社レオック関西  
株式会社中央グリーンハウス  
阪急産業株式会社  
株式会社藤給食センター  
東京ビジネスサービス株式会社  
エームサービス中部日本株式会社  
メフォス株式会社  
株式会社レバスト  
栄食メディックス株式会社  
株式会社サンマーチ  
東京ケータリング株式会社  
あきもと  
新大阪食品産業株式会社  
テルウェル東日本株式会社  
株式会社コスモテック  
グリーンホスピタリティフードサービス株式会社  
株式会社ニッココトラスト  
株式会社アターブル  
松屋フードサービス株式会社  
熊本大学生生活協同組合  
財団法人学校福祉協会

株式会社アール・ティー・コーポレーション  
株式会社レクトン  
銀座スエヒロカフェテリアサービス株式会社  
株式会社東岡山給食センター  
小田急リゾート日本  
ゼネラルフード株式会社  
株式会社南テストイバル  
ウオクニ株式会社  
株式会社久仁加食品  
丸の内ポールスター  
大一食品株式会社  
株式会社ジーディーフードサービス  
ジャパンコントラクトフード株式会社  
千葉大学生生活協同組合  
茨城県庁生活協同組合  
株式会社レオック関東  
アサヒカルピスビバレッジ株式会社  
お茶の水女子大学消費生活協同組合  
株式会社アイビー・シーエス  
ロイヤル西日本株式会社  
中村学園事業部  
有限会社岡崎  
有限会社満潮  
ニュー第一食堂株式会社  
レストラン霞ガーデン  
千曲食品株式会社  
有限会社山王富士  
東武食品サービス株式会社  
株式会社八洋  
財団法人日本放送協会共済会  
株式会社ポピンズコーポレーション  
株式会社クロス・サービス  
大分大学生生活協同組合  
西南学院大学生生活協同組合  
ニラックス株式会社  
早稲田大学生生活協同組合  
イオンリテール株式会社  
すしたけ(陽だまり)  
びあらいぶ仙台  
金城学院大学生生活協同組合  
滋賀医科大学生生活協同組合  
株式会社東臣  
京都大学生生活協同組合  
株式会社中部グリーンハウス  
平田産業株式会社

株式会社東栄  
きみどりキッチン  
宮崎大学生生活協同組合  
東京外国語大学生生活協同組合  
有限会社レストラン栞の葉  
株式会社中央  
株式会社アベックス  
株式会社伊藤園  
東京コカ・コーラボトリング株式会社  
ペーカリー風月  
株式会社日本レストランエンタプライズ  
鹿児島大学生生活協同組合  
九州大学生生活協同組合  
株式会社リベラルテーブル  
株式会社バルニバービ  
リーガロイヤルホテル東京  
埼玉大学生生活協同組合  
イトランド株式会社  
愛媛大学生生活協同組合  
株式会社い和多  
佐賀大学生生活協同組合  
東京割烹株式会社  
トーヨーベンディング株式会社  
株式会社レストラン・ピガール  
株式会社レストランさくら  
株式会社ワンズフードサービス  
株式会社馬淵商事  
キリンビバレッジ株式会社  
三重大学生生活協同組合  
神奈川大学生生活協同組合  
四国キャンティーン株式会社  
財団法人電気通信共済会  
大阪大学生生活協同組合  
アーバンベンディックスネットワーク株式会社  
株式会社ダイケングループ  
株式会社札幌給食センター  
中部ペプシコーラ販売株式会社  
東京工業大学生生活協同組合  
利根コカ・コーラボトリング株式会社  
エームサービス関東株式会社  
ロイヤル株式会社  
大学生協連 東京事業連合  
法政大学生生活協同組合  
慶應義塾生活協同組合  
武蔵学園生活協同組合  
常磐興業株式会社

コンパス九州株式会社  
株式会社ニッココトラスト西日本  
株式会社朝日食堂  
株式会社萬惣食品  
三國フーズ株式会社  
株式会社ニユートーキョー  
株式会社ジェイティクリエイティブサービス  
うおまん 中之島店  
EX-サービス株式会社  
株式会社若しば企画  
サービス エコライフ株式会社  
株式会社どうきゆう  
株式会社ベヌーゴケータリング  
株式会社奥原商事  
丸玉フーズ株式会社  
関西大学生生活協同組合  
NOC日本アウトソーシング株式会社  
ネオス株式会社  
プリチストンビジネスサービス株式会社  
株式会社ASSホールディングス  
太陽フーズ株式会社  
一橋大学消費生活協同組合  
九州工業大学生生活協同組合  
コカ・コーラウエスト株式会社  
株式会社馬車道  
テルウェル西日本株式会社  
株式会社ジャパンビバレッジ  
西南女学院大学生生活協同組合  
長崎大学生生活協同組合  
名古屋大学消費生活協同組合  
有限会社ホーユー  
大阪府立大学生生活協同組合  
株式会社メーキュー  
東京農業大学生生活協同組合  
有限会社食養生  
ダイヤ食品サービス株式会社  
株式会社ぐりーん企画  
有限会社壺屋  
阪南大学生生活協同組合  
西部給食株式会社  
株式会社OSAプランニング  
葉隠勇進株式会社

# 2011年からご参加中の企業 (2011年3月21日現在)

2011年1月以降も、多くの企業・団体の食堂・商品にてTFTプログラムを導入いただいております。

※敬称略・ご参加順

## 企業

ダイダン株式会社  
株式会社EM生活  
キリンホールディングス株式会社  
日本マイクロソフト株式会社  
ヤンマー株式会社  
株式会社美濃忠  
日機装株式会社  
パナソニック電工株式会社  
トッパン・フォームズ・サービス株式会社  
株式会社あおぞら銀行  
中部電力株式会社

## 学校

東京農工大学  
立命館大学

## 病院

医療法人白十字会耀光リハビリテーション病院

## 外食店・その他

02カフェ  
marilou  
FUKU+RE  
キングストングリル  
POINT NATURE/ORGANIQUE CAFE/BAR  
株式会社アプト  
株式会社M.Cメル&ココカンパニー  
新和食 到 ~organic&dining~  
LIGHTNING CAFE  
FIAT CAFFÉ  
シニフィアン・シニフィエ  
ドミノ・ピザ ジャパン  
楽天レシピ  
株式会社チェリーテラス

## 食堂運営会社・ベンダー

株式会社レオック西日本  
東京農工大学消費生活協同組合  
株式会社ジャパンビバレッジ東日本  
株式会社門松  
株式会社共栄ベンディング  
埼玉西ヤクルト販売株式会社  
三國コカ・コーラボリング株式会社



# メディア掲載一覧

世界の食の不均衡の解消に取り組むTABLE FOR TWOにとって、啓発活動は大切な活動の一つです。2010年も様々な媒体で紹介していただき、多くの方に理念や活動の様子を伝えることができました。

## 新聞

|             |        |                   |        |
|-------------|--------|-------------------|--------|
| 高知新聞        | 1月3日   | 愛媛新聞              | 10月21日 |
| 陸奥新報        | 1月4日   | 読売新聞(東京版)         | 10月21日 |
| 日本経済新聞      | 1月23日  | THE DAILY YOMIURI | 10月25日 |
| 熊本日日新聞      | 1月25日  | 静岡新聞              | 10月26日 |
| 四国新聞        | 2月5日   | 毎日新聞(夕刊)          | 10月28日 |
| 朝日新聞        | 2月21日  | 朝日新聞              | 10月29日 |
| 東京新聞        | 3月2日   | 静岡新聞(夕刊)          | 11月1日  |
| 毎日新聞        | 4月6日   | 四国新聞              | 11月1日  |
| 伊勢新聞        | 4月8日   | 日経MJ              | 11月1日  |
| 日本経済新聞      | 4月22日  | 中日新聞(市民版)         | 11月2日  |
| 毎日新聞(夕刊)    | 4月26日  | 日刊工業新聞            | 11月2日  |
| 愛媛新聞        | 4月30日  | 読売新聞(夕刊_大阪版)      | 11月6日  |
| 中国日報ほか6紙    | 5月1日   | 読売新聞(熊本版)         | 11月21日 |
| デーリー東北      | 5月3日   | 日本経済新聞(夕刊)        | 11月26日 |
| 朝日新聞(夕刊)    | 5月11日  | 北海道新聞             | 11月28日 |
| 日経流通新聞      | 5月14日  | 日本経済新聞(第二部)       | 11月30日 |
| 日本経済新聞      | 5月27日  | 読売新聞(西部)          | 12月3日  |
| 日刊ゲンダイ      | 5月29日  | 日本経済新聞(夕刊_大阪版)    | 12月4日  |
| 秋田魁日報       | 5月31日  | 日本経済新聞(東京版)       | 12月16日 |
| 信濃毎日新聞      | 5月31日  | 東京新聞(埼玉版)         | 12月18日 |
| 神奈川新聞       | 6月1日   | 読売新聞(都民版)         | 12月30日 |
| コビニエンスストア新聞 | 6月1日   |                   |        |
| 日経MJ        | 6月2日   |                   |        |
| 北海道新聞       | 6月2日   |                   |        |
| 食品産業新聞      | 6月3日   |                   |        |
| 日刊流通ジャーナル   | 6月4日   |                   |        |
| 静岡新聞        | 6月4日   |                   |        |
| 徳島新聞        | 6月8日   |                   |        |
| 読売新聞        | 6月11日  |                   |        |
| 宮崎日日新聞朝刊    | 6月12日  |                   |        |
| 毎日新聞        | 6月15日  |                   |        |
| 四国新聞        | 6月16日  |                   |        |
| 山陽新聞        | 6月17日  |                   |        |
| 日本経済新聞(地方版) | 6月17日  |                   |        |
| 朝日新聞        | 6月18日  |                   |        |
| 中国新聞(夕刊)    | 6月22日  |                   |        |
| 静岡新聞        | 6月26日  |                   |        |
| 日経流通新聞      | 6月28日  |                   |        |
| 朝日新聞        | 7月8日   |                   |        |
| 日本経済新聞(夕刊)  | 7月17日  |                   |        |
| 日経流通新聞      | 8月13日  |                   |        |
| 朝日新聞(WEB)   | 8月18日  |                   |        |
| 北海道新聞       | 8月24日  |                   |        |
| 日本経済新聞      | 8月24日  |                   |        |
| 日本経済新聞(WEB) | 8月25日  |                   |        |
| 中日新聞        | 9月3日   |                   |        |
| 日刊産業新聞      | 9月8日   |                   |        |
| 鉄鋼新聞        | 9月8日   |                   |        |
| 中国新聞(WEB)   | 10月13日 |                   |        |
| 朝日新聞(熊本版)   | 10月14日 |                   |        |
| 朝日新聞(熊本版)   | 10月17日 |                   |        |
| 毎日新聞(熊本版)   | 10月17日 |                   |        |
| 朝日新聞        | 10月17日 |                   |        |
| 愛媛新聞        | 10月17日 |                   |        |
| 日経MJ        | 10月18日 |                   |        |

読売新聞(2010年6月12日)



## 雑誌

|                |             |
|----------------|-------------|
| FRANJA         | 1月号         |
| 月刊ゴルフマネジメント    | 1月号         |
| HILLS LIFE     | 1月号         |
| alterna        | 2月号         |
| Grazia         | 4月号         |
| プレジデント         | 4月12日号      |
| AERA           | 4月12日号      |
| 週刊NY生活         | 5月15日号      |
| TOKYO HEADLINE | 5月31日号      |
| 週刊女性           | 6月3日号       |
| THE21          | 7月号         |
| THE21          | 8月号         |
| MORE           | 8月号         |
| THE21          | 9月号         |
| 関東じゃらん         | 9月号         |
| 宝島             | 9月号         |
| AERA           | 9月27日号      |
| Grazia         | 10月号        |
| THE21          | 10月号        |
| BRUTUS         | 10月1日号      |
| Grazia         | 11月号        |
| 就活TYPE         | 11月号        |
| 日経DIGNIO       | 2010年AUTUMN |
| 三分クッキング        | 10月16日      |
| Grazia         | 12月号        |
| THE21          | 11月10日      |
| 月刊コンビニ         | 11月13日      |
| kotoba         | 2011年冬号     |
| 25ans          | 2011年1月号    |
| Grazia         | 2011年1月号    |
| AERAEnglish    | 2011年1月号    |
| FRANJA         | 2011年1月号    |

計33回

## テレビ

|                                 |        |
|---------------------------------|--------|
| 日本テレビ「NNNDキュメント」                | 3月14日  |
| ケーブルテレビ足立「びためっ！」                | 4月10日  |
| テレビ東京「地球VOCE」                   | 5月21日  |
| NHK「ニュース845」                    | 5月31日  |
| NHK「首都圏ネットワーク」                  | 5月31日  |
| フジテレビ「とくダネ！」                    | 6月2日   |
| フジテレビ「めざましテレビ」                  | 6月14日  |
| NHK総合「おはよう日本」                   | 6月24日  |
| テレビ東京「参加型みんなで社会貢献テレビ びつくり会社見学」  | 6月27日  |
| 日本テレビ「NEWS EVERY」               | 7月21日  |
| テレビ東京「モーニングサテライト」               | 7月26日  |
| テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」            | 7月26日  |
| 日本テレビ「NEWS EVERY」               | 8月5日   |
| 名古屋テレビ「UP!」                     | 10月29日 |
| テレビ静岡「チョット！いいタイム」               | 11月17日 |
| 東京MXテレビ「ザ・ゴールデンアワー」             | 11月17日 |
| テレビ東京「参加型 みんなで社会貢献テレビ びつくり会社見学」 | 11月28日 |
| 東海テレビ「スーパーニュース」                 | 12月7日  |



Grazia(4月号)



毎日新聞  
(2010年10月28日)



AERA(4月12日号)



## ラジオ

|  |            |        |
|--|------------|--------|
| J-WAVE WHAT A WONDERFUL WORLD                | GW SPECIAL | 5月3日   |
| J-WAVE J-WAVE SUNDAY LIBRARY                 |            | 7月25日  |
| J-WAVE J-WAVE SUNDAY LIBRARY                 |            | 8月1日   |
| TOKYO FM(Japan FM Network) OH! HAPPY MORNING |            | 11月15日 |
| Inter FM Green Station                       |            | 12月11日 |

計5回

計18回



# 財務報告

2010年1月1日－12月31日 (単位:千円)

| (1) 収入     |        | 98,816  |
|------------|--------|---|
| 1. 給食事業寄付金 | 76,310 | 開発途上国の給食のための寄付金   |
| 2. 菜園事業寄付金 | 2,845  | 開発途上国の菜園のための寄付金   |
| 3. 菜園事業助成金 | 1,897  | 日本での菜園設置のための助成金<br><small>(2)3.の支出額に応じ、追加費用に対する助成金が2011年に支払われる予定)</small> |
| 4. 啓発事業    | 1,723  | 講演料、イベント参加費等  |
| 5. 運営寄付金   | 12,737 |   |
| 6. 会費・入会金  | 180    |   |
| 7. 助成金     | 3,000  |   |
| 8. その他     | 123    |   |

| (2) 支出      |        | 82,743                                       |
|-------------|--------|--|
| 1. 給食事業寄付金  | 61,048 | 開発途上国の給食に対する寄付金                              |
| 2. 菜園事業寄付金  | 2,348  | 開発途上国の菜園に対する寄付金                              |
| 3. 菜園設置関連費用 | 2,523  | 日本での菜園設置に関連する費用                              |
| 4. 啓発事業経費   | 643    | イベント開催費(会場費他)等                               |
| 5. 人件費・外注費  | 10,871 | 人件費(常勤2名、非常勤3名)、外部への業務委託費(報告レポート印刷費や税理士相談料等) |
| 6. 事務所管理費   | 3,356  | 家賃、光熱水費、通信費、リース料等                            |
| 7. 活動費      | 1,517  | 旅費交通費、会議費等                                   |
| 8. その他      | 436    | 租税公課、振込手数料等                                  |

|        |        |
|--------|--------|
| 当期収支差額 | 16,073 |
|--------|--------|

|          |       |
|----------|-------|
| 次期繰越収支差額 | 7,913 |
|----------|-------|

第4期にあたる今期(2010年度、通年の活動では3年目)は、主幹事業である食堂プログラムに注力した結果、導入団体数が順調に伸び、今年度末時点での導入団体数は、前年度末時点の1.7倍にあたる379団体となりました。また、レストラン・カフェチェーン、コンビニエンスストアでのキャンペーン展開についても、1回あたりの商品数、店舗数などの規模・実施回数ともに前年を大きく上回る形で実施いただくことができました。さらに、従来の食堂プログラムに加えて自動販売機を通じた給食支援や、日本での菜園設置を通じて開発途上国の学校菜園の支援を行う菜園事業もスタートするなど、活動の幅を広げてまいりました。

収入におきましては、TFTメニューの販売による給食事業収入が76,310千円と前年度の2倍近くの数字を計上し、全体収入としても、前年度の約2倍にあたる98,816千円となりました。結果、今年度単年では、運営費・管理費82,743千円を差し引き16,073千円の黒字収支となり、黒字化の目標を達成することができました。また累積でも、前年度までの累積赤字8,160千円を打ち消し、7,913千円の累積黒字となりました。

支出におきましては、開発途上国への寄付金としては給食事業61,048千円、菜園事業2,348千円、また助成金による菜園設置費用として2,523千円、啓発事業費として643千円を計上いたしました。事務局運営のための各費用につきましては、人件費・外注費、事務所管理費、活動費の合計で前年度とほぼ同額の16,180千円を計上いたしました。主たる給食事業においては、76,310千円の収入に対して、61,048千円の開発途上国への寄付を実施し、収入の20%に当たる15,262千円を運営管理費に充当させていただきました。

来期(2011年度)も引き続き、主たる事業である食堂プログラムや食堂以外での給食事業の拡充に向けて邁進するとともに、これまでTFTにご参加いただける機会が限られていた家庭でもご参加いただける新たなプログラムも展開し、活動のさらなる拡大に努めます。

# 団体概要

【組織】 ※2011年3月末現在

|        |   |
|--------|---|
| 団体正式名称 | 特定非営利活動法人TABLE FOR TWO International  |
| 設立     | 2007年10月24日   |
| 種別     | 租税特別措置法第六十六条の十一の二第三項に規定する認定NPO法人 (2010.1.16認定)  |
| ホームページ | <a href="http://www.tablefor2.org/">http://www.tablefor2.org/</a>   |
| お問い合わせ | <a href="mailto:info@tablefor2.org">info@tablefor2.org</a>  |
| 代表理事   | 小暮 真久   |
| 理事     | 浅尾 慶一郎 - 衆議院議員<br>北神 圭朗 - 衆議院議員<br>世耕 弘成 - 参議院議員<br>高島 宏平 - オイシックス株式会社代表取締役社長<br>藤沢 久美 - シンクタンク・ソフィアバンク副代表<br>松田 公太 - 参議院議員 |
| 監事     | 渡辺 伸行 - TMI総合法律事務所 弁護士  |
| 決算期    | 12月31日  |

【活動内容】 先進国でのヘルシーメニュー提供や啓蒙活動等のプログラム実施によって得た寄付を通じての開発途上国への学校給食支援を中核に、開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動

【支援国】 ウガンダ共和国・マラウィ共和国・ルワンダ共和国・エチオピア連邦民主共和国・南アフリカ共和国

【給食実績】 637万5,831食（累計・2010年12月末日）

【実施団体数】 379社・団体（日本国内・2010年12月末日）

- 【実施形態】
1. 社員食堂プログラム
  2. 外食産業・食品小売実店舗プログラム
  3. 喫茶・ドリンクメニュープログラム
  4. その他食品関連プログラム（食品通販、挙式披露宴メニュー、仕出し、ケータリング）
  5. 食の不均衡改善啓発プログラム